

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-50)、MOX施設(1-50)）」

2. 日時：令和3年8月10日(火) 13時30分～18時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他24名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループ マネージャー

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 専任部長代理

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 安全高度化対策推進部
主観プロジェクト統括 他1名

MHI NSエンジニアリング株式会社 構造技術部 機器構造設計グループ

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和3年7月20日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年8月3日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年8月4日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設、濃縮施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	それでは 8 月 10 日火曜日の
0:00:10	ヒアリングを開始したいと思います。本件は例は 2 年 12 月 24 日に申請されました再処理施設MOX施設の設工認に係るヒアリングです。本日の出席出席者ですけれども、コサク調査官。
0:00:26	ハバサキ審査官モリノ、そしてWeb参加でカミデ審査官となっております。
0:00:32	本日の提出資料ですけれども、8 月 3 日 7 月 20 日 8 月 4 日に提出された資料に基づき説明を受けることになります。日本原燃からまた出席者の紹介と、それと各資料でですね。
0:00:48	それぞれ説明目的と達成目標の説明を行ってから補足の説明をお願いします。
0:00:56	IAEAのフジワラです。それでは現場の出席者紹介させていただきます。まず最初に上部からAムラノのサガワタカハシにも通報からタカマツ、タニグチaハラダbと。
0:01:11	なります。それからですね、連通管系ですね、対応としてフナコシ橋カミタイラ%。
0:01:19	きちっとそれから機器耐震関係になりましてサガワヨシダ、フナバスケカワ、カワムラなんかいろいろちょっと、
0:01:30	要はですね、
0:01:32	液体の現場のサンプルとして、ハラダaメキタナカ鶴田サトウイシバシ、コウタケイシハラ
0:01:42	エスペックからミカン園地標高 3 から三明さん、それから高見さん。
0:01:48	本社陰性 16 株式会社絡みの 3、それから大成建設株式会社から派生し予算タカハシさん、以上で対応していきます。
0:01:58	以上ですが、今見積もりさせていただいております。設工認の申請に係る対応ですね、こちらの地盤の話になりますが、こちら説明させていただいて、飛来物防護ネットの耐震設計の結果もロジックそれからアノン全力整備冷却と飛来物防護ネットの耐震設計の考え方。
0:02:15	そのあとですね、波食建物 010-131049 名補足説明を実施させていただこうと考えております。
0:02:24	それでは早速ですが、設工認申請に係る対応状況ということで地盤関係の説明に入りたいと思います。
0:02:33	その辺のお話でございますヤマザワの右肩に資料 1 であります設工認申請に係る対応状況というところにして次回の審査会合申します 3 としてしないと

	て、一番のことで作成してきているもの、こちらについての説明をさせていただきます。
0:02:48	こちら資料の方の違いとか、外部の方で御説明させていただきますと3ページ4ページのところですけれども、本日の説明内容と基本的な考え方、あと第1回と第2回目の設公務のこの地盤モデルを使うというところにつきまして、前回の7月の審査会合で御説明をさせていただき、いろいろと比べまして、
0:03:08	審査会合ウェブ及びそのだみカミ取得者に対しましてもちろんモデルの作成の結果後やはり市長会の結果というところを説明しましたけど1000枚付け加えさせていただいております。なるほどGW検知装置のところ※1回目の設工認申請料引きますと、いわゆるコウタケハットリ棄却した。
0:03:27	続きまして今回結果ちょっと余りにも当初として扱っていることにさせていただきますがそのサクシオン結果については、さっきの記載をしておるところでございます。ベンチャーの年齢が貢献をちょっと説明しておりますようになっちゃって、いわゆる複数個
0:03:42	また年度中タテウチこともちゃんとコメントに対してあるのではないとこれと6ページの脆弱性のところなんです、こちらの前回ヒアリング審査会合のページでご指摘いただいていることもちまうと少しちょっと1点だけなんです、こちらの図の下側のトラブル変遷が赤線を引いているところでございますが、新聞細菌とか共有とか、
0:04:02	ございますので、こちらの参集状況からヨシダといったものがちょっときちんとRmオガセかけた上でモデル化を作っているところでこちらでも御説明してもらえればやっているところというところでございます。
0:04:14	この後、もし何ページ以降につきましてはメキでございますが、こちらの章で用いた場合の耐震評価というところの結果への記載をさせていただきまして、審査会合こちらゆめタウン運営電車これさせていただくというところで構成をしてございます。
0:04:30	申し訳ありません。ちょっとそれも資料もこの7ページから救急車も結果のこの表なんです、ちょっと本日につきましては、こちら手法とちょっと違う尺度直下命に探傷かけておきたいというふうに書かせていただいておりますけれども、ちょっとこの表の見せ方ありましたそういったところにつきましてはちょっと
0:04:48	けんぼしているところでございますので恐縮なんですけれども、ちょっと示している資料につきましては、ちょっとすみません差し替えさせていただきましたようにこの分ちょっと申し上げました各種の番号とさせていただいて、この黄色い四角の評価結果を用いたちょっと時間を用いた評価結果を記載というところの勤務へのな形で、

0:05:07	ちょっと別にフナバしなおし飲め差しかえをさせていただきたいというふうに考えている次第でございます。説明につきましては以上です。
0:05:17	はい規制庁モリノです。すいませんちょっとマイクに近いのが大部分声があので通りが悪いのでちょっとマイクから離れて発言していただくと、よろしくお願いします。
0:05:29	日本原燃の小川先生の失礼いたしました。もう一度御説明をさせていただいたほうがよろしかったでしょうか。
0:05:37	まずデータ伝わっているので大丈夫だと思います。
0:05:41	それではですね。それでは規制庁側からの事実確認に入らせていただきたいと思っておりますので確認がある方はお願いします。
0:05:53	はい、宗教ハバサキです。
0:05:55	まず今説明された資料1について何点か確認したいと思います。
0:06:05	まず4ページですけれども、これ先ほども説明があったんですけれども、
0:06:12	いや、第1回申請と第2回申請における地盤モデルの扱いということで、第1回申請については、ちょっと地盤条件浄化地盤のモデルを採用すると大事件に関しては、
0:06:28	その直下の条件を踏まえて検討を行うと地盤モデルに関してなんですね、決算上設計するところの方針については、もうこれでお決まりと決めといいますか。範囲内ということで認識しておけばよろしいでしょうか。
0:06:46	想定がでしょうか。
0:06:50	10名同士でございますが、こちらのほうに関しましてもハバサキさんからお話の通りで、またミカミ申請として保障も記載している直下ベースといったところでの資料の内容ということでございます。第2回目シートにつきましては、そちらのほうの現状の直下型地震規模を踏まえたところの検討のほうを実施いたしまして適切な地盤モデル、
0:07:10	復旧していくというところで考えていただいております。以上です。
0:07:14	はいきちゃうわけです。今ご説明了解しましたみたいですので、当資料の4ページ、一番上の基本的な考え方も三つ目のポチなんですけれども、
0:07:29	そこで、その際の業務といいますかですね。
0:07:33	今回設工認においてはですね入力どうも半径にあたっ系へ直下または近傍の地盤の特徴を踏まえた検討を行った上で適切な地盤モデルを設定することになってますので、
0:07:49	内容は理解を進めらですね半分ですが、この段階である程度どんな検討を念頭に置き系設定するというモデルを設計することになるのか。

0:08:06	これはもう少し丁寧なというかですが詳しい説明を加えるということではできないでしょうか。
0:08:20	その見通しでございます。今の佐々木さんが内容といったところこういったミカミ申請に向けて具体的に今少し考えているようなところ少し加筆というような意味し、
0:08:32	というふうにはよろしかったでしょうか。
0:08:35	規制庁ハバサキですと、
0:08:37	基本的な考え方の三つ目のポチの話なんですけども、これ第1回外にかかわらずという認識でよろしいですね。
0:08:49	2ヶ所ございます基本的な考え方でこれベースとしては
0:08:55	1階と二階のところの総括的なところで記載して欲しいというところがございますしちゃうわけです。そうするとですね具体的に第1回で何度か出ないんだってというようなそこまでは必要ないんですけれども、第1回第2回を通して、大体、
0:09:13	検討する内容っていうのはそんなに変わらないというふうに、こちら認識するんですけれども、要はその特徴を踏まえた検討っていうのが、もう少しこう具体的なイメージがわくような形で実際代からとかでやられてる内容を
0:09:31	以降移行読めばわかるんですけれどもこの基本的な考え方の段階でもう少しイメージのわくような形での表現、そういったものは可能でしょうか。
0:09:47	メキはしてございます。トピックスとしましてはやはり直下とかのですねボーリング調査結果に基づいた地質構造に基づいて評価を実施していくというところが基本的に共通事項というふうに考えてございますので、その特徴を踏まえていったところがそのボーリングに基づいて、
0:10:05	直下の地質構造ないし、そういったところをちゃんと踏まえた上で検討していくというところですね、少し肉づけしたような形のほうで今、多少の具体的なところが私のほうで示さしていただきたいというふうに思います。
0:10:20	吉ハバサキです。はい。今とそこの説明のような趣旨ですね要は我々何とかヒアリングやってる人間は大体もう流れがわかるんですけども、そうじゃない方が、まず最初に頭にインプットする意味でですね、報告説明をもう少しという形で、
0:10:38	芸さんは言っているという認識ですので、ちょっと検討もお願いしたいと思えます。すいません、規制をしてもらいますといたしました規制庁コサクですけど、今のやりとりは多分理解できてないんじゃないかなと思っていて、
0:10:56	この資料でどう書くかということよりも、
0:10:59	支援センターの設工認申請書で適切な基本設計方針かけるのか。

0:11:05	添付書類の中で、設計方針の補足として適切な具体化が図られるのかで評価方針として、具体的にどうやっていくかというのが書けるのか、その結果として得直下地盤モデルを作るということなのかはたまたあと、
0:11:22	ということの考え方が整理できるのかと。
0:11:25	ということになってそこは第1回第2回っていうのは関係なくて、先ほどハバサキが言ったように、共通の考え方として示される範囲
0:11:36	ということだと思うんですね。そうすると、検討内容といったときに、周辺を含めたSpaldingデータを踏まえてというのでは全然足りなくて、それはあくまでインプットだけだから、それをどのような販売で、
0:11:52	整理をしてどうするのかと。
0:11:58	考え方が必要だと思います。そうすると今後、今回は
0:12:06	一つの建屋一つの構造物と。
0:12:10	ということなので、それぞれ周辺の
0:12:14	データを使って三次元
0:12:18	地盤モデルを作ってみてやって比較をしようと。
0:12:21	いうことの対応しましたけど、
0:12:23	今後はそれを全部やるのか代表でやるのかといったところの検討されるんだと思いますが、今後も含めて、今回やったやつの方ってというのが明確になっていくようにということなので、
0:12:41	どういう視点で今回比較をした上で判断をしたのかというポイントをまとめるっていうのが大事だと思います。よろしくお願いします。
0:12:54	第1回検討してございます。今ミニストップさんのお答えいただいた内容も踏まえた上で、ナカムラのところで見た内容というところから直下の近傍のデータっていったところに対して地質構造であったり、あとそのところに着眼して、
0:13:11	そういったところで整合性が図られているかっていうところの視点に基づいて地盤モデルを設定していったところがございますので、そういったところのそんなふうな視点であったりとか評価するなりといったところを踏まえた上であの文書公開させていただきたいというふうに思います。
0:13:30	周知ハラダです。すいません私のそれだけがちょっとうまくないんでしたので、今説明あったような方針ですね、方針を作成をお願いしたいと思います。
0:13:42	続いてですけども、これは確認ですけども、5ページ4ページ5ページのページ、今回二つの施設に対してですね対処施設についての直下地盤のモデルの概要が書かれていますので、
0:13:57	先ほど説明ありました6ページのほう、4Bに関しては直下地盤の条件を若干右直した方も赤枠にあるような形でモデルの変更をすると。

0:14:14	いう説明があったんですけども、それ以外に、今まで説明があった直下地盤のモデル
0:14:22	EPMAをBはですね、それは先ほどの話以外の変更が箇所はないというふうに理解してくれるよろしいでしょうかそれでは見直しでございます。おっしゃる通りでございます、こちらの層境界線以外のところにつきましてはこれまで御説明しております。
0:14:41	4割ぐらいというところでございます。以上です。
0:14:46	規制庁ハバサキです。今の説明で理解しました。その上でなんですけれども、ちょっとこれ公開話ですね、6ページ目4b-とか地盤モデルを設定する上で、
0:14:58	今そのL4の調査方法ですね、別に設定ということがPS検層の結果をもとに設定というふうに考えているんですけども、金法という意味ではkV
0:15:13	の調査坑もありますけれども、
0:15:16	なぜ軽微じゃなくて、AL様のほうを採用したのか、その理由について説明してください。
0:15:28	それぞれの現場の設置につきまして天野中学向こうの地質ままつかサトウて部分的にもあります。これこれでkwの支出面とか、それぞれの部局テーマチェックとして生命ちょっと質問があったりちょっと声がこもっているのでゆっくりしやべってもらいます。
0:15:47	これ仕上げございません。
0:15:49	はい。まずですけども、こちらのkw空港のところの地質構造を深さ方向の地質構造性というふうには我々この旅客低迷地盤モデル直下地盤モデルを使う、使うように、一番性の地質構造外国の規格流行でとれているというふうなところがづくり違う前提となっております。
0:16:08	この後いっぱい来運行という方向の二つの一番品をルートがあるわけなんですけれども、こちら企業文化といろいろこちらとしては確かにkVこの辺が若干近いというところになっているんですが、これにつきましては地質構造を見たときにこちらの歳入砂岩ですとか提案ですとか、
0:16:25	そういったところも現地の現在の形がいろいろ向こうのプロパーこちらQW工事部門に対して近いというようなそういったところも判断をした上で、こちらの標高の公債おっしゃっているところでございます破線の詰めも使えるなるべくやはりその番地で見ると多少はやはりレベル差というものがございましたので、そちらに精力9形でキング
0:16:45	多分向こうも地質分布に合わせて設計をしたというようなそういった流れになってございます。以上です。

0:16:53	規制庁多数の今ですねさん説明されたことっていうのは、／フェア読めないんですけれども、補足説明等ですなそういった今の説明っていうものが、要はまえるを代表としてAと設定するという形になると思うんですけど。
0:17:13	その根拠についての説明っていうものを今の段階ではないと思うんで、今後、その説明のほうの要員が必要というふうに考えますが、その抵当対応っていうのは可能でしょうか。
0:17:27	日本原燃の荒瀬でございます。おっしゃる通りでございます、こちらの根拠でとる必要だと認識しております、こちらの補足説明資料のほうの三つ目の質問でございますが、いろいろなところで準備を進めているところでございます。
0:17:42	規制庁浜崎です。説明、今の話は理解しましたので御説明での説明ということでよろしく申し上げます。
0:17:52	この資料に関しては、もう1点なんですけれども、これも先ほど説明があったんですけど、直下地盤の評価で7ページ目以降に、こういう形で取りまとめを考えていると言ったら表に関しては、フォーマットを変更されるとまってちょっと今、現段階では差し替えるという話がありました。
0:18:13	項目としてですね、今、例えば9ページのところに隣接の影響評価の報告が上がってるんですが、
0:18:26	直下地盤の影響としては、他に。これまでを伝えてますように、隣接だとか、一関生かし話だとかあるかと思えますけれども、
0:18:36	それらについての検討状況、それから、こういった形での取りまとめ、それについてちょっと説明をしてもらいたいんですが、いかがでしょうか。
0:18:52	投資を変えます。今まであった部分の直下地盤で置き換えることによって誘導するまで取引という形のほうでRISのリストからの
0:19:06	この推進強化によってその回答すると説明資料につきましてはマーキングをさせていただきます、
0:19:12	でございます。その上でですね何回聞いてて成立性建屋のほうを記載させていただいたのが部長いるんですね会合の中に少し隣接建屋の部分に関しましては、説明しているところがございますのでそちらにポンプがやっぱりわかりところで、隣接建屋の部分が、
0:19:27	前回の会合資料に印刷していただいております。ただ、おっしゃる通りでございますそのタームが埋め評価としてカワムラといたしまして一応できてありまして、日本語であったりされた部分がございますので、そういったものにつきましては、
0:19:42	リスクがございます連通説明資料のですね会計の中で19日以降にですね中期差し替えのような形のほうで今準備しているという状況でございます。

0:19:54	規制庁浜崎です。もう少し具体的に
0:19:58	次回の会合までにどこまで説明ができるか説明を考えられてるかなんですけれども、その点いかがでしょうか。
0:20:08	いろいろ面倒しようと思えます次回の会合のみです御説明できる範囲外といたしましては現在の耐震計算書等地震と経産省の部分に関して差し替えと隣接建屋の影響評価の部分だと1 関東の水平2 方向、こちらの方がですね。
0:20:26	計算書の中身になってございますので、そちらのほうを次回の会合は並びに補足説明資料としての出し直しといったところで御準備させていただきといたところでございます。そのために見るをいたしまして
0:20:39	確認、基礎スラブのベースに荷重による応力とか、そういう部分の少し細かな部分もございしますが、そちらの中身に関しましては、8月の末にですね、一通り資料の回答を準備するように、私のほうで準備しているところでございます。以上です。
0:20:55	はい。規制庁ハバサキです。今御説明でスケジュール感、あと内容についてもですね、現段階でも状況ということで理解しました。
0:21:07	この資料に関しては、私の方から以上です。
0:21:11	規制庁コサクですけど、今の確認事項もあの会合でちゃんと説明していただく必要があって、この資料の中に入ってくるべきものだろうと思うんですけど。
0:21:25	今回資料提示がどういう位置付けのものと出されて、今のような話をどういふふうにまとめていくつもりなのかっていうのを聞かせいただけますか。
0:21:37	常銀トガシでございます。本日ちょっと見直してある資料に関しましてはその部分のお願いしたいというところで版としていたんだけれどもちょっと頻繁になるかってところに関しましてはちょっと今考えておりました添付資料なりに指定いたしましたして、
0:21:55	直下に置き換えることによりまして、これまで御説明している会合の中で、数値解と帰るんや影響評価の部分に関しましても増えていった位置付けのところ耐震計算書の中にベントを与える施設評価といったところでこれまで会合で御説明してる中身の所選手と位置付けております。
0:22:14	それで今ほどのところございましたため、処分といったスケジュール感のところ、もちろんしており、また所則ポイント日時のところよくなってくるのかといったところで御説明のスケジュール感でとこも1人というふうに思いますので、部分に関しましては最終的なまとめといったところにですね、ちょっと早目にスケジュール感のほうを記載した値のほうで、
0:22:34	ただし、いろんな後ろの方には配布していただきたいというふうになっております。

0:22:40	はい、規制庁補足です。
0:22:43	まとめでそういうことを書かれるのはまず当然なんですけどとにかく前にですね、4ページの次とか、
0:22:51	あたりに
0:22:54	今回方針変更したことによって、全体としてどういう見直しがあるのか。
0:23:00	どう取り組んでるのかっていうことを書いていただかないと、この会合の資料でどういった範囲どこ内容が確認する必要があるかっていうのがわからないので、そういうページは必要なんだと思います。
0:23:15	それが前回の会合での指摘への対応ということだと思いますのでよろしく願いします。
0:23:24	関連してございます。ご指摘ありがとうございますぶっちゃけ全ページ目のところで頂部から行いました内容に関しまして、全体像っていうところ100円となって、全体にとってだところがある形のところで追記させていただきたくなる最終的なまとめてみたところで御説明した内容のところを展開するのが私のほうへ出向させていただきたいというふうに思います。
0:23:49	はい、規制庁がいいのですねとほか確認項目はありますでしょうか。
0:23:56	規制庁カミデです。先ほども少しお話をしていた4ページの記載でちょっと細かい確認ではあるんですけど。
0:24:08	Q基本的な考え方に
0:24:11	適切な地盤モデルという言葉があって、第2回のところでも適切な地盤モデルというのが書いてあるんですね。
0:24:21	第1回だと、適切な地盤モデルっていう形ではなくて何か何か違う言葉で置き換えてですけどちょっとそれぞれの関係がよくわからないので、わかりやすいように書いて欲しいと思いますって。
0:24:40	トップに思ってるのか対2回のところの適切な地盤モデルっていうのをちゃんと明らかにしないと。
0:24:48	第1回と同じことをやりますっていうふうにも読めるんですけどその辺、今までのヒアリングの確認の中ではちょっと第1回と違うようなことも完売っていうみたい。
0:25:02	今考えてるようなので、その辺り、適切に記載を行った時たりと思いますので、
0:25:09	もう少し具体的に第2回でということを考えてるのかっていうのを紹介いただけますか。
0:25:20	はい、検討してございます。先ほど冒頭の基本的な考え方のところで少し駅南分譲先ほど冒頭にお話をしたことも自主的な取り組みでちょっと大分見返りに

	<p>ちょっと記載の5ヶ所と強い期待になってございますので、そこはやっぱりそういうことする微小というところございます。</p>
0:25:40	<p>そちらの方の基本的な考え方のところを少し執権書き方のほうにさせていただきます。その大舞台に行こうとしておりましてもいいようなことを考えるのかっていったところに関しましては、ちょっとやっぱりいろいろと沢山出すねご支援も踏まえて基本としてるタナカでございますので、</p>
0:25:58	<p>最終的にこういったところですね、こんな山の上にするところがありますながら仕事をしなければならぬといたしましては、やはり少し変わって来検診といったところで最新の知見を反映していくといったところで行きますと、やはり今まで少し1事案の評価っていったところでPRAと本当に進めている通りでございますけれども、</p>
0:26:18	<p>認識論的な評価も取り入れたところですね、やはりその最終的な地盤モデルって例えば一つ1回最初に考えてみる必要があるんじゃないかといったところもございますので、特にドブプラ効果べくですね一番安定解析におきましては二次元の解析モデルを用いて評価してるといったところもございますので、</p>
0:26:38	<p>例えば二次元的な評価の中にですね、それ深部のボーリングとあなたはしないのですね、構築していくといったところ、少し主軸で考えながらその上で、こういったところがさっきのシナリオでなかったところを検討していくといったところで、今、</p>
0:26:55	<p>検討して検討資料としましては先ほどの一段と策定評価の中で用いて二次元の4ページのところを一つの検討材料として今検討を進めているところでございます。</p>
0:27:06	<p>以上です。</p>
0:27:10	<p>はい、規制庁関係です。この話直交モデルの話ってもともとキー設工認でやっていた平均的なモデルをどうするかというお話で話をしていく中でデータ、</p>
0:27:26	<p>1回については直下ないし希望があったということだろうと話したり、その考え方を踏襲して第2回もということだったと思うんです。</p>
0:27:38	<p>けど、今の説明だと第2回の申請対象施設の建家の建設位置の直下であったり、近傍のところを使うの場。まず1としては、ベッセの採取の位置としては、そもそもの考え方で建屋それぞれで</p>
0:27:57	<p>考えるという、</p>
0:27:59	<p>本当なんですかね、まずその原因を明らかに位置してください。</p>
0:28:05	<p>はい。</p>
0:28:07	<p>売り上げのトガシでございます。基本的に物性値日本としてですねそのうちでるといったところでも、数値データを始めていったところ、ここは基本的な考え</p>

	方だと思っております。その上で、その通りルーターといったところを見る前に伝えて
0:28:25	仕方があるところで平均地盤のピットから溢れあふのビルというところで、代替の淡水事項としてあるというふうに私ども考えてございます。その上でやっぱり差が例えば内容の直下にあるルーターそういったところの地質今後でもですね、踏まえながらですね。
0:28:42	電波といったところで考えていけないといけないといったところで、現状としましてはその事業の中で、例えば直下の地質構造なりしていたところですができていますのでございますので、そういったところ、これもしながら当直の影響は今度しながら、
0:28:59	検討を進めていくといったところで今検討を進めているところでございます。
0:29:07	規制庁カミデです
0:29:11	そうすると、1としては、とにかく建屋個別、それぞれの建屋の直下が実機でやります。ただモデル化の方法として次元じゃなくて二次元を使うこともありますと、
0:29:26	ということが第2回のモデルの扱いについてでいいということっていうことなんですかね、言ってる適切な地盤モデルって言ってるんですかね。
0:29:42	今度はしてございます。失いながら複数のちょっと言い方が適切などころもあったと思うんですけどもかなりシミズ一般沸点の脚部で大体夢中火事場直下
0:29:56	便利だと思うんですねそれ以浅も決めていくわけではございませんので、やはりその部分っていったところが、この各事象に対しても機能が基づかなども当然しかるべきだというふうに思っておりますので、別にね。
0:30:12	17の平均地盤面といったとこでいきますと、出されてますけども仕方になるようななどと形状でとらえるという意味であつたりとか、それとともに、ルーターっていったところも配慮してないといったところがございまして、今回は作成しようと思っている地盤モデルっていうのは各建屋単位での通り、
0:30:30	廃棄物だったところが当然取り入れながら、もう少し今までよりもですね非常にやっぱり教育しながらメキを作成していくといったところで今考えてるところの趣旨から内訳の直下单語一つ一つの主体どこ。
0:30:46	現地も変えるとかですねそのまま絡める設定ではない。
0:30:51	以上でございます。
0:30:54	規制庁カミデです。
0:30:56	そういうことだと思っていたんですけど、何か回答で次元次元の話とかできる交換なくなっちゃったんですけど

0:31:06	おそらくここでもともとあったのその一次元とか二次元とかいう話ではなくて、物性値をどっかから持ってきますかというか、Cなんだと思いますそれで大会はちょっとある近傍てます。第2回は低調かなり近傍のものもあれば、
0:31:24	その結果科学的根拠に基づいてくる言及はできるんじゃないばそういうこととしてますってということだと思ふので、そうであれば、ここでそういったことがわかるように、第1回とサブもちゃんと書いてもらったほうが大きいかな。
0:31:43	と思いますんで、そういった形でちょっと見直しをお願いします。適切な地盤モデルみたいな形でぼや／してしまうというふうなのでちょっと明確にこの辺の記載をお願いします。
0:31:59	はい。どうしてございます皆さんも御指摘のところ、理解いたしましたので、キャビティ内取りかえのところちょっと直流というところで作ってるところがございませうけども、2番目以降に関しましてはやはりちょっとプラスそのなりというところにもですな意識して作ってるところ他もそうで。
0:32:16	そういった形のほうで
0:32:19	わかりやすい表現になるような形の方で修正させていただきたいというふうに思ふます。
0:32:25	規制庁しゃべっ予算ビジネスよろしくお願ひしますってサトウ独ページまでこれはかなりやっぱりとも規制庁コサクですけど、今の点ちょっと確認なんですけど、これまで行っていた平均地盤モデルっていうのはもうやらないっていう理解ですか。
0:32:47	売れる見通しございます。やはり最新の科学的合理的なベースの考え方に基づいた地盤モデルをちゃんと設定するっていったところが出発のというふうに思ふてございますので、そちらのほうで御説明の交差してみた上でですな、その取り扱いに関しましては、また別のものというふうに思ふてございますので、
0:33:07	当社としては、耐震が違う踏まえて児嶋モデルについて御説明させていただきたいというふうに考へてございます。すいません。規制庁コサクですけど、端的に答へてもらえませんか、そういう曖昧な表現をされるかわからなくて質問してるので。
0:33:21	従来平均
0:33:25	のモデルっていうのは、当該建屋から遠く離れたデータも町へ
0:33:32	一方で直近のものは入れずにという平均をとって、とても科学的合理的な説明になってないということだと思ふんですけど。
0:33:42	一方で、それは別に、科学的合理的に考へた上でって言われても、
0:33:48	その関係性がわからないんですな、もうやらないっていうことなんですか。

0:33:53	やるってことなんだったら、それが何で合理的だと思っているのかというその道筋のことは少し語ってもらわないとですね。
0:34:02	具体的に言われるのは大事かもしれないけど、
0:34:05	今その最低限の考え方をいわゆる言えないんだったら申請できないんです。
0:34:21	規制庁コサクです。また別にですけど。
0:34:26	多分答申でございます。抽選曖昧な表現使って調べました。最初に説明する事項としましては先ほどの資料でどこまでのための一部の評価を使ったイシバシ評価の方には御示していくといったことになっております。
0:34:44	その上で、ちょっと比較対象としまして、十一番とあります吉岐の地盤モデルっていうために関しまして内部データとして安全含めないにも聞いたところはBとして認識をしてございますけれども、ある程度ヒアリングに行って敷地全体のルートを意識してモデルであるといったところもございます。
0:35:03	その20年までですね比較が積まれた上で、もしくは終戦設計地盤面での対応関係上、署名できるのであればですね、貯金地盤までずっといったところでもですね十分その最新の株式などといった一番等々のであれば使えるものなのかといったところでは、
0:35:22	年度の訓練して
0:35:25	それはその無人の評価モデル洗い出ししながらですね、最終的な部分、運転者の責任は島忠上関1グラムっていう固めた車両の90万ベクレルといったところが集もですね一つ漏れないといったところですね、検討を進めていきたいというふうに考えてございます。
0:35:42	規制庁コサクです。それをちゃんと言わないと最初に、ハバサキから言ったような検討を行った上で適切な地盤モデルっていうの繋がりがわからないんですよ。
0:35:53	ずっと御説明はその場合の検討を行った上での検討の内容として、直近のものを含めて、二次元でやってみますと言うだけであって、その先どう考えて、適切な地盤モデルっていうのは何なんだということについて一切説明がなかったんですね。
0:36:10	そこが問題だっていうのは私が最初にハバサキがあると指摘をしたつもりです。
0:36:16	今の考えであれば、そういうふうと言わないとですねプロセスとして明確にならなくて、
0:36:23	申請書添付書類の中での評価方針としても第2回でも使える共通の方針にならないので、

0:36:31	そこはしっかりとまとめていただく必要があろうかと思います。一方で、本当にじゃあそれで
0:36:40	直接やればいいものを
0:36:42	もとの平均っていうのもまた作ってその差分を比較するというのが合理的なのかどうかっていうのはちょっとよくわからないんですけど。
0:36:51	その考え方は何らか、
0:36:55	聞いておく必要があるのかなあと。
0:36:58	いうふうに思ってますのは具体的には、そういうような評価の比較をした上で、この程度の差分であればとかっていうようなことかもしれないんですけど。
0:37:07	そのあたりはどう取り扱っていくおつもりですか。
0:37:15	機械振動してございます。やはり最終的
0:37:19	ムンバイ取り扱うといったところに関しましては、
0:37:23	一括のオプションが考えてる部分、基準地震動評価モデルといったところでやっぱり評価結果を踏まえて、その1時間の妥当性今まで使ってもらえるか使えないかも照射成長した形で評価っていうか、すみません。はい。規制庁コサクですけど、さっきから同じこと言うやめましょうよ。
0:37:42	これもこんなこと言うのは半年以上ずっと続けて付けてるんですけど。
0:37:48	聞いた上で質問してるんですから、
0:37:51	違うプラスアルファのことだけ言わないと議論がまともに進みませんよ。
0:37:57	そういう状況で半年進んでるっていうのはわかりませんか。
0:38:07	結果、
0:38:08	連動してございます。申し上げますませんでした。違うことにして、評価結果を見た中でですねその適合性の判断っていうところが必要だというふうに考えておりますので、現状の評価結果できない段階ですので基本的な考え方は先ほど申し上げた中身かなというふうに思っておりますけど
0:38:27	木嶋委員が使えるかどうかについては評価結果を踏まえた上で、当社として検討を進めていきたいというふうに思っております。
0:38:35	はい、規制庁コサクです。そうすると、こういうような検討をまとめたっていうのは
0:38:42	近傍直下或いは近傍のデータを踏まえた、今回は一次元だけど自戒を実現も含めて評価をしてみて、
0:38:54	従来のモデルをモデルの設計の考え方でつくって申請してきたやつものと比較をして
0:39:05	適切に基準動が算出できるものかどうかっていうのを検討して
0:39:14	実際に使う地盤モデルっていうのを決めていきますと、

0:39:17	いう方針の中で比較をするというところの詳細の考えについては、ここへ具体化を図っていくということで、今回はその敷地をはっきりしないで、
0:39:34	直下近傍というところでデータを使ってそこに簡単ではいらないと。
0:39:39	その部分は大次回送りにして対応してくると。
0:39:43	ということですね。
0:39:47	会議の見直しでございます。おっしゃる通りでございます。
0:39:50	はい、規制庁の古作です。そういったことがわかるような記述にまずする必要があります。それ善し悪しは別として、皆さんがそういう考えているということちゃんと言っていたかないと議論が始めの始まりませんって、その転出ちゃんとわかるようにしてください。
0:40:11	はい。どうしてございますのをいたしました。
0:40:16	規制庁個別麻酔科でいうと、その上でどの程度適切かっていうときに、平均でこれまでやっていたものもいいと皆さんが思うのであれば、それはそのサンプリングするデータがどの範囲、
0:40:33	思って今回の当該評価部位に対するデータ、
0:40:40	そして適切かと思う話であって、
0:40:45	直下でやればいいものを遠くまで広い理由は若干わからないものですね、提供を与えない程度のデータを加えましたって、皆さんでやれば 10 だな。
0:40:57	思いますけど
0:41:01	その距離って多分とり方といったところの差異波でやってその点はうまく説明するということではないかなというふうには思いますので、
0:41:12	なんて言うんですかね、モデルの設定の考え方とときに、データの取り扱いの観点での記述っていうのを精査しておくことだと思います。
0:41:24	第 1 条分としてございますご指名ありがとうございます。
0:41:28	議題の預金として説明の中というところに関してはそういった部分のデータの取り扱いっていうか部分に関しましてはちょっと注意した形のほうで御説明のほうを展示させて史跡たいというふうに思っております。
0:41:45	規制庁カミデです。すいません今のやりとりを聞いて私の認識と、多分
0:41:52	先ほどトガシさんが言っていたこととの認識がちょっと合ってなくて再度確認したいんですけど、
0:42:00	工認の設計用地盤モデル、
0:42:03	これは復活することがあり得るということなんですかね、私はそれはもうないんじゃないかなと思ってたんですけどあり得るということです。
0:42:15	回答はしてございます回りくどい説明をしてしまって申し訳なかったんですけども、基本的には先ほどのベースのところでも事務評価といったところさしてです

	した上で説明されちようカミデです。なるべくシンプルに聞いているつもりなので答えもおっしゃいましたけども、
0:42:34	徘徊へっていうことができるようなもんだとかですね。
0:42:38	当復活する可能性があるというふうに思っております。
0:42:43	規制庁カミデです。わかりました。あともう一つ、既工認の設計用地盤モデルっていうある集団がありますか中央西側東側、そう、それ以外のグルーピングが出てくる可能性も第1回以降はありますか。
0:43:02	4トガシでございます。現状考えておりません。
0:43:08	はい、わかりました。
0:43:10	ちょっと私が念頭に置いて完売していたのは、例えば、非常に密集している例えば幾つかあるんで、前処理とか、燃料プールの建屋とかですけど、実際に物性値を比べてみて非常に近ければ同じもので、
0:43:28	というようなことを
0:43:31	直下拡散ってやっぱり出発点にしても広げていくのかなと思っていたんですけどそうではなくて、あくまでもグルーピングするのであれば、工認のグルーピングが使えるかとか、
0:43:42	いうことでお考えということですね。
0:43:48	トガシでございます。現状としましては、基本のベースが考え方で考えているとあったところでございますので、おっしゃる通りです。
0:43:59	規制庁カミデです。わかりました。その辺、
0:44:04	なかなか資料ではわからないですし、ヒアリングを出していても、私のように感知が薄いところがあると思ってわかるようにまずは記載と合うようにお願いします。
0:44:19	飛ばしてございますこちらの4ページに記載に関しましては、全体的にわかる記載のほうに直させていただきます。
0:44:30	はい。規制庁カミデですかと、非常に細かい質問で、6ページ目の速度構造の
0:44:39	図を見るんですけど、
0:44:44	震度で言うと10メートルぐらいのところの速度境界か、
0:44:54	左側の図も陸右側の図も同じになっているんですけど、それよりも下草例三中メートル以下マイナス30メートルから30から40メートルの間のところはずばらしい。
0:45:09	10メートルの所ずらさなくてもいいというのはどういう考え方なんでしょうか。
0:45:17	はい、日本原燃のオガセでございます。こちらの地質の下側の(4)からDまでというふうな今書いてありますけれども、チェックシートの地質は柱状図に着目

	<p>してご覧いただければと思うのですが、こちらにつきましては以前前の歳入さらわNP広く広がっておりまして、途中途中でいく。</p>
0:45:37	<p>その下欄という物が挟まっているところがありますが、それが例えば特に分類Ⅲに対して影響を与えるようなそうではないというところが、まとめをkW更新時に比べるとわかるところでありますんで、これ 33 分のところですが広がっているというところは困る直下等の流用超えてる近傍への聞いたら、</p>
0:45:56	<p>申し訳ありません。直角kW工程金等々のリモートで同じようなところになっておりますので、この細胞下盤の中で濃縮度のヨシダというところにつきましてはこちらのほうへ同じ以降の高さに切り替えるというところで扱っていただけているところがございます。これ地質境界だとの差異硫酸といえば未金かかっているということで、地質、</p>
0:46:16	<p>変わってるところ、これについては明確に※10 メーターぐらいの差がありますので、ここの切り換えたというところであります。以上です。</p>
0:46:26	<p>規制庁カミデです。歳入サーバ版同じ</p>
0:46:31	<p>提出であるのに、</p>
0:46:35	<p>ある一定のところでは速度構造は変わってくるというのは、</p>
0:46:41	<p>この際流砂岩というものにおいては普通のことなんですかねちょっと一般的な話として聞きたいんですけど、一般的な話んとさせてさせていただきますとSEMさらにならつきましては、こちらのムラノから下まで大体こうだろうと同じようなものでありまして、その同じ名前だけでもセンターの物性といえますか。</p>
0:47:00	<p>ものの種類が違うというものではないと、同じ種類のものでもあります。この中でも、下のほうがかたいというのはやはり小さいやつとかそういったような影響で指定したくなること。</p>
0:47:10	<p>楽になるというのは一般的なものだと思っておりますので、この拡張というのはいいですがそれ以降だんだん硬くなっていくというようなところの特徴というのは、共通的に見ていいものというふうに我々認識しているところがございます。</p>
0:47:25	<p>規制庁神戸です。開梱資料にそこまで書く必要はないと思うんですけど、補足高レベルでその辺の過温考え方ということで分析を入れていただきたいなと思います。ちょっとこれだけでは、</p>
0:47:42	<p>このラインがふさわしいのかどうかよくわからないという詳しい説明をちゃんとそういう使用しておいてください。お願いします。ユニハンドラ弁のオガセです。かしこまりました。ちょっと補足のほうではこの辺の扱いにつきましても見えるようにちょっと記載のほうを充実させていただきます。以上です。</p>

0:48:03	ちょっとコサクです。今の補足のつくり込みにあたってということでもいいんですけど。
0:48:10	単なる推測なりですね原燃の思いということではなくて、ちゃんとエビデンスに基づいて説明をしていただきたいと思います。
0:48:20	イビデン数の中に学会なりで言われていることだったり論文だったりということもあろうかと思いますが、皆さんの敷地全体でのデータを見てこういう特徴があるなり、こういう
0:48:37	傾向にあるのでということもあろうかと思いますが。
0:48:41	そういった点ではいろんなデータがあると思いますから、そういうのをちゃんとまとめてですね、／砂岩というのか。
0:48:50	上側の部分についてはこういう傾向があるので、こういう設定の仕方をする。隣接についてこういう
0:48:57	完売元に展開をしていきますということで、北側についてはまだ出てがんサーバなりといったところでの1を踏まえて設定しますと、
0:49:09	いうのがある全般にいえることなのかどうかということですね、まとめていただければと思います。よろしくお願いします。
0:49:17	日本原燃のオガセしてありがとうございます。それにさせていただきますと、基本的にはほかのところでの地盤があるとの絡みましてみたりいたしました人たまり点数共通的による傾向がないのかというか、いろんなところの観点でもちょっと見てみまして、補足説明資料ではそういったリリース判断の根拠までも何度かいろいろ説明に追加させていただくことを考えております。以上です。
0:49:53	規制庁モノです。他に確認項目があればお願いします。
0:50:10	はい。それではこの資料に関するですね修正方針とかスケジュールの説明をお願いします。
0:50:20	はい、よろしいでございますが、こちらの資料といたしましては、本日いただいた内容といたしまして、多分いろいろ事務方の基本的な考え方といったところに関しましては、弁閉を修正等まだ未申請で異なったらなかなか移動することがございますのでその部分に対しまして、
0:50:38	今のタジリのところの全般的に見直したような形から修正させていただきます。その部分がまだミカミ申請においては、具体的にどういったところは考えるのかっていうところはないって、記載のほうをフジノ形のほうで修正のほうを図っていきたいというふうに思います。
0:50:56	また福祉5ページ目のところで、
0:50:59	MeV曲線Bというところに関しましては、記載の部分でありましたような部分にも、その部分が／落としていく部分もございまして、あと監視の中です。

0:51:13	チーム。
0:51:15	ですので、その中でですね 4 ムラノ 2 社の方の研究部分といったところが近いと記載のほうに駐車していただきたいいきたいというふうに思っております。また後でございまして 789 に関しましては指標の部分のところまで
0:51:30	今日の資料のほうが核種さしていただきますけれども結果のまとめさせていただきますと最終的にあるなと思っていたところでこれだけ習慣等の位置付けですねそういうと、これに尽きるか、それからイトウに関してまとめのほうで対応させていただくというものに先ほどの 4 ページを見てますね。それに
0:51:48	今までの設定の考え方がございますし、あと今後とか使い方っていうところも含めた形のほう、原子炉の上半期さいただきたいというふうに思いますんで、こちらのほうも調べ直しに関しましては、資料の改訂版といったところですね 19 日の日に添付させていただきたいというふうに考えてございますのでよろしくをお願いいたします。以上です。
0:52:10	はい。19 日が当初の予定通り 19 日ということで確認しました。ここ何か追加で確認することよろしいですか。
0:52:22	はい。それでは次の資料に移らせていただきます。
0:52:31	よろしいですかね。今の件もハラダです。続きまして、8 月 5 日提出資料ですね。トピック一番後ろに書いてあります通り耐震建物 23 回目の資料になります。到着する職員プレスお祭り細胞したか。
0:52:48	であって、或いは各種団体や適用して評価してはますけれどもそれはまずといったところをまとめた資料になります。簡単に検討を説明いたします。
0:53:00	確かに 3 ページにですね。
0:53:04	こちらでちゃんと懸念かということでちょっと構築とありますけれども、
0:53:10	リスクが我々としては、実際の委員に配置を考慮した上ですね、配置上の数字、当然戦略というのがございましたので、すなわち側の置換でトレンチは管理がされておりますし、
0:53:27	現場の人面とか夜間オオヒガシですね、ちょっと季節型っていうのが 1 にする関係で、そういった事象に制約を考慮した上で構築したんですが、これちょっと補足させていただきます。
0:53:42	そういう意味では静的な地震荷重ですと概略評価を行ったところ、全体としての転倒モーメントプレスをかなりかたくすると転倒モーメントが発生して関連部局にぶつかってしまった。
0:53:59	或いはもらうプレスを悪くすると、それ座屈してしまうといった問題もありましたから、この解決として
0:54:09	JAXA 補足です。

0:54:11	今皆さんヨシダということでございます。
0:54:15	4 ページ目ですけれども、
0:54:18	これじゃちょっとはしょっブレース採用に当たりましては、やはりうんち
0:54:23	といったものは生じないように、
0:54:26	左右対称の心身取りは考慮したときですね、或いはチタンとかアルミセメント 固化大きくなりますので、
0:54:36	仮想風部材駄目大きな苦慮する対応したり、配置を考えた。
0:54:43	いうことを行ってます。そのようなページ目ですね、5 ページに整理した通り
0:54:50	8000 意味で扁平状態を確認しました。
0:54:55	それで、グループかはっきり部分的に 400 集中するとかそんなことを確認した と言われた資源を集中させ直下というのが成立することは確認したというこ とでございます。
0:55:12	セットで一緒に検討しましたので、そうすると1名ですね。
0:55:19	上手くいっ解析抜けば私駄目簡単なモデルを一応紙で
0:55:27	三次元ですずっと評価進めますと、見積もり口に書いてありますけれども、かな り液位機械設計を社員がやらないと沢山高速ですね
0:55:41	やっぱりまでツガネば修正を表明できないので、
0:55:46	少しイトウするとかなり解析時間もかかってしまうという問題になりましたから、 それちょっと串だんですね 3 日 800 ということでございます。
0:55:59	7 ページメンバー磁性串だ分
0:56:03	はい。
0:56:05	ベルク中という紹介です。
0:56:08	8 ページ目、9 ページ目にあるリスクハヤカワのJRR-slip比較していくんだと いうところまとめてございますけれども、
0:56:16	はい、フジノがあるんですよ。それから言うと思っているわけですね、1 弁別々 するという話、それから、現地解析を行った結果、振動数ですね。
0:56:29	どっちが当面進路すればよろしいんですが、したため振動特性皆同じなん ですよということで紹介しております。
0:56:40	それから 9 ページの式のとんでも、一番最近打ち合わせ部位における評価な んですけれども、そこだけを取り出して評価してますけれどもだめ貯蓄ログ検 定値、
0:56:56	比較してとって実施するということを紹介します。
0:57:00	一つのポイントであると考えているといったところですね、直上JP1 ページ目 は、尻別する日組み合わせて評価っていうのは他の事例はありますということ で、10 ページ目の線であり、発電所であったり、

0:57:16	11 ページとかです、主管既得権もやっぱり質点系とハットリカワラサキませんと。
0:57:23	いろいろ紹介をして、
0:57:27	ですけれども、一応まず各病院でします。
0:57:35	はい、それでは規制庁側からの確認をお願いいたします。
0:57:41	規制庁川崎です。
0:57:43	全体会合のほうで指摘をしましてその後解除ということで
0:57:50	拝見したんですけれども、この資料自体は今月の会合に向けてこういった形でまとめると、そういう考えでつくられているんでしょうか、まずそれをきやすください。
0:58:06	原研ものです。おっしゃる通りですね関連とか見つかったらいいなとかミデまとめました。以上です。
0:58:16	規制庁ハバサキです。まず実は補佐先ほどの資料もそうなんですけれども、
0:58:22	配付資料でしたら、前回の会合のこちらからの指摘事項。
0:58:28	その要点をまとめて、それに対して今回どういう回答する。
0:58:33	でその回答の要旨があって、計回答の中身が説明としては有効性になります。
0:58:41	基本的にはですね。ですので、今後これが最後の資料の形でまとめるという形に言葉が得られているようでしたら、今申しましたような形で、まずこちらの指摘に対して、の間、
0:58:56	またイトウの方針、そして回答内容について適切に説明をしてください。そういう意味ではですね、前回私のほうから会合の中で申しました、まず簿等を常務過去及び書の
0:59:12	耐震評価における全体点について説明をするようにというふうにして使用しました。こちらから申しました。
0:59:19	その取りまとめについては今準備されているんでしょうか。
0:59:25	地震でもあるわけでございます。一方、
0:59:29	まず会議資料に使うのが、こういうサポートできるところはいけるかいたしました。それから2点目ですね、状況が時済んで評価をなろうかというふうなんです
0:59:42	A4 拠出を書いています耐震壁も43年中に請議してございますので、ちょっとそちらのほうで紹介するとともに、下位の資料でも当然宿題の回答ですからすると。
0:59:58	2番目でございます。以上です。
1:00:01	資料。

1:00:04	はい。
1:00:06	規制庁幅だけ素直に私どもは 23 或いは 13 とそのすみ分けられる或いは立て付けの話もあるんですけれども、基本的に先行審査実績の
1:00:19	竜巻防護ネットのところを見ますとですね、定格を問う下部工基礎についてですね、耐震計算書という形で取りまとめが高浜履行されてますので、それに倣う形での取りまとめ、
1:00:34	こちらとしては収まりますので検討してください。
1:00:40	その上でですね、当会合で指摘しました 2 番目の話なんですけども。
1:00:47	まざっ拘束ベースについての設定の採用の考え方とか、設計の方針については、ある程度今口頭も含めて説明があったんで、それに対してもまだ細かい案こちらとしては、
1:01:03	確認事項があるんですが、
1:01:06	三つ目に移った後で言いましたですね、こちらとしては支店系モデルではなくて、なんでのハウ酸知見モデルを使うべきだという話をしているわけではなくて、
1:01:21	失点系モデルで評価することが適切であることを示してくださいと。そのためには三次元モデルの弾塑性応答解析等部材レベルで比較をしてその比較結果から、震源モデルの評価の妥当性を示してくださいという話をこちらからしました。
1:01:41	で、本来その回答に相当するものは、私自身 9 ページしかないというふうに考えてます。
1:01:48	8 ページに関してはこれほいじゃ話なんで、初期剛性の話なんで。
1:01:55	我々求めているのはあくまでもそのえっとダンパがポンプ主体以降にですね。弾塑性応答挙動の団体で、その挙動を踏まえて、今回の評価結果が適切であるのかどうかということになります。
1:02:12	その結果と思われるのは 9 ページなんですけれども、9 ページが何か条件、結果の最後の評価結果できれば出てるんですけども。
1:02:24	条件だとか、今これがどういう状態のもとになってるのかっていう情報が全くないんですけども、
1:02:31	そこらそういった情報については、今後、前にですね、説明があるというふうにしておけばよろしいんでしょうか。
1:02:44	明日のハラダでございます、積算したっていうのはやっぱりきちっとやるのか、強い火線満足だったり加速度だったり、スピーディーに、
1:02:58	うん通告する加速度、こちらも引っ張っても
1:03:04	課長。

1:03:06	そういう趣旨の御質問等ございますでしょうか。規制庁ハバサキですか、そうではなくて、各部材です。
1:03:25	はい。
1:03:27	日本エム・ディ・エムの稲場です。やっぱですね、タカナシand条件で見ますとですね、ちょっとから2次いましょうかやっついていかなくなってしまいますので、
1:03:41	そちらの距離ですね、比較したとする設備できるんですが、いかがでしょうか。規制庁浜崎です。今般の資料、最後までと非常にいい整理だと時間がかかるという話を書いてあるんですけど。
1:03:58	何でもかんでも要するにすべてのSsに対して、
1:04:03	検証している必要がないと、例えば隣接でもSsであって、Ss絵だけでやるようにですね、代表的な波で、その妥当性を検証するっていうことも可能だというふうに思いますけれども、それでも要はSs一波であっても、
1:04:20	非常に時間が変わって部材レベルでの評価と比較というのはできないっていう設置ことなんでしょうか。
1:04:28	はい。もしもこと申し上げなかったんですけど、1番地-13ページ、先般も比較面ですと話したけれども、
1:04:42	仮にやってるんですね、財務局にかなり引張応力的解析ですかね。ミカミの点数をかなり細かく計画イトウ
1:04:56	JAXAコサクプレスTVのパテ埋めたりですね。
1:05:00	そうしてしまうとですねかなり賃借数字の結論ですけども、こういう単純13.はベントラインの一部になってしまうんですがいっぱいあっても、そのくらいの力がかかってしまった。
1:05:15	資産本当におつきくなってるんですね例えばせん断力をとっぱかかしてくださいだという比較でしたら、
1:05:24	なお、ベントするっていうのは2週間で取り出したんですけども、そこのご説明の中の株式期間ばでしょうか。
1:05:35	規制庁ばかりです。
1:05:38	こういった鉄骨造の弾塑性解析でいろんな言い方もあるかと思うんですけども、ちょっとその、
1:05:46	意見タケダ系時間がかかるんで、そもそもちょっと信憑性までこちらとしては考えちゃうんですけども、まずは現段階としてはそれるんではどうやってそのレベルでの評価をしているのかというところ。
1:06:02	その過程で、部材レベルにも展開できるのかどうか。

1:06:07	そういったところの説明をまずはしてもらわないと、こちらとして何を考えて三次元っていう先ほど言いましたけどですね、できればいいんですけども、といって、やはり検証としては、
1:06:23	一つの波にあってもですね、30年分のブライダルの評価っていうのはやっぱり大切だと思いますので、そのそれるですと当然何らかの拘束条件なりを設けているというふうに思いますので、そこら辺の妥当性を踏まえてですね。
1:06:38	もう少し、要は9ページの説明がもう少しもっとうまく細かいっていうか、詳しい説明をは用意されているということによろしいんですね。
1:06:50	伝えてもらっておりまして、大変錯綜してですね、別レビュー増加というところで強化してお示したいと思います。ヶ所時期から13ページの時してしまうとですね、大変になる。
1:07:07	少し連関してる人ふうに考えます。以上です。そしてうちよ作業終了の部分だけで説明したいと思います。以上です。
1:07:21	ZPAちゃうわけですが、スケジュール的には、今のお話はどのぐらいを見ておけばよろしいでしょうか。
1:07:29	はい、杉田委員長さんの資料6、今週末に出す形しようと考えてますから、それから出すことができます。
1:07:39	規制庁だけすみません内容部材レベルでの比較が先ほど非常に大変だという話をされたんですが、部材レベルの比較を今週末に補足23、所退避23のほうで結局及びができるということですか。
1:07:58	すみません、資料1年いってしまっちゃってちょっと訂正が必要です。
1:08:06	時間とか出すのでね。
1:08:12	そういうことを説明。
1:08:14	主にちょっと注力の種からもしかしたら皆様の資料になってしまいそうですけれども、私らも工夫して出します。
1:08:27	規制庁ハバサキですけども、
1:08:31	どういう作戦で事業者としてこちら規制庁も説明するかっていうのも考えていただいて、要は、例えばそのレベルで最初説明をしてございレベルでしたら、こういう形で展開予定してますっていう形で、その次に持っていくとかですね、いろんなやり方があると思います。
1:08:49	なので、ちょっとそこら辺、事業者としての今の説明のときからの見解方法ですね、考えた上でですね、出せるものといいますか、できるところからまず説明のほうで月末に会合で説明されるんでしたら、
1:09:07	その段階ではここまでとかですね、そういうちょっと方針的なものを含めてですね、説明をしてもらいたいと思います。いかがでしょうか。

1:09:18	はい、そうですねとおっしゃったことは理解いたしましたので、少ないような挙手してすぐわかりましたもに対して説明いたします。以上です。
1:09:31	設置規制庁コサクです。今の話でいうと、当初予定の今週末っていうところで、今言った
1:09:42	月末の会合まで向けて同資料拡充していくかといったことがわかる。
1:09:49	資料にして提出いただいて、拡充を図って 20 日までだったり、20 参集早めだったりとか、
1:10:01	いうところで拡充をするというスケジュールを組んで対応いただきたいと思いますが、姫路それでいいですか。
1:10:10	はい、そうですね、下のですが、まず出せる兆候ちゃうということも大事ですので、ちょっと 1 社だけ取り上げる段階名所さんばかりで、次とこれから対応していく。
1:10:26	多分いたします。以上です。
1:10:31	規制庁壁だけその際ですね
1:10:34	この資料をブラッシュアップするのか、
1:10:38	本体の補足説明資料でちゃんと書いていくのかわかりませんが、まず最初に合わせ以外たように、介護での指摘事項が網羅されてない状態なので、数量しっかり取り組むということを対応いただきたくて、
1:10:53	特にこれ一番最初がわからなくてですね、口頭で補足されたんですけど、それを書類にさせていただかないと全く議論できないんですよ。
1:11:05	ジャックス立ててしまったので入れましたっていうんですけど、なんで出ちゃったのっていうことなるので、発電所では出ないのっていうことっていうのは、口頭で補足があったことの制約があるからにほかならないので、
1:11:19	それ言わないと始まりませんのでですね、対応はよろしくお願いします。
1:11:25	はい、田中です。資料で、やっぱりいたしません、ムラノという資料環境試料使う積み立てということでございますので、13 の資料にも当然持ってるんですけども、会議資料の
1:11:43	Point 仕事ですね、沢山あるにしろ、そういった伝えられ、チュウさん。
1:11:53	ですとか文中にちょっとめくりいただくということを対応いたします。以上です。
1:12:05	規制庁ハバサキです。今の
1:12:08	対応のほうをお願いしたいと思います、
1:12:11	ちょっと内容についてですね確認したいこともあるんです。すいません。はい。すいません。1 点、関連していいですか

1:12:21	9ページのトップ功労になるんですかね開校でもう三次元の弾塑性解析等失点系モデルの結果を比べて妥当性を見たいというような話をして、事業者としてもそういうことをやるというような話だと思うんですけど。
1:12:44	ちょっと、なぜそういう今話をしていたような食い違いが起きているのかよくわからなくてですね。
1:12:51	その総合等っていう部材ごと、
1:12:55	て何が違うのかっていうのは人たちを理解できていなくて、イメージとしては、9ページにある図1版のような三次元モデルに対して、血清数の何段だけを入れてですね、その応答を失点系のものと比べてみるっていうことを
1:13:15	いやあれトのかなと思ったんですけど、そうじゃないんですかねその9ページに書いてある赤枠の中身というのはどういうモデルでどういう荷重を入力したときに出てきた結果なのかっていうのをもう一度教えていただきます。
1:13:34	以前、
1:13:35	大成建設の高橋です。娘アラーム9便には働く中に書いてあるのはですね、ある代表二倍、もともとですね失点系モデルで検討した際に、最大検定値がルーターAという要素に対して、
1:13:54	代表として今回三次元のフレームで応答解析をしたものと、もともとやっていた支店系モデルを比較しました。この代表断面に関しましては、支店軽減モデルでやった結果と
1:14:10	三次元フレームでやった結果それぐらいの程度の施設課として出ていることをこのページでは示しております。先ほどですね何本であることから、いわゆるためには、これだけではなくて、各、総務に作成しているせん断力と比較して、
1:14:31	そちらの部分でも、34フレームモデルと質点系モデルな土木部門グループの結果が出ることを一応こちらのほうでもカ店整理しておりましたので、その工程をしっかりと仰ってまして、
1:14:48	この京都、ちょっと違うとなんていうのが、この表面欠陥ではないことの説明でございました。
1:14:58	なんで、ちょっとそれと娘比べて薄い部材もともとあの評価オオオカの難しいことも説明させていただきます。
1:15:10	それとですね。
1:15:11	今回、この9ページの表なんですけれども、これはもうあるAという部材に限定して評価しておりますんで、これを全部倍に対して、評価することが非常に時間的に困難だというふうな

1:15:27	ご答弁先ほどハラダカメラさんのほうから少し生まれたんですけども、当協会するにあたって、軸方向と軸部曲げモーメントそれからその組み合わせと いうの
1:15:45	フレーム解析を行って時観覧ええと時刻歴応答解析上評価しますと、核に看板メーターの時間ステップに対しての評価をする必要がございます。
1:15:58	弁等、そのタイミングを連成指針案であればですね、2000ステップの時間ステップがありましたので、それを業務ステップ見てMAXのやつはどこなのかとも いっぱい引っ張り出すことっていうのは非常に時間がかかってしまいますので、
1:16:17	うん。
1:16:18	三次元応答解析での断面評価をするというふうなものが、時間の書かれているのは、そういう意味でございました。以上です。
1:16:31	規制庁コンビニエンスストアの大体イメージは掴めました。
1:16:37	地震応答解析自体は三次元のほうで使ってSsでの波を使っていると。そこまで来てるんだけど、あのポスト処理のところからねらった結果とねらった部材の結果なりを持ってく污水处理が大変でしか関わると。
1:16:57	ということで、今回はとりあえず検定的な部分について話が出ていると、そういうことで理解しましたけど、正しいですか。
1:17:07	大成建設の高橋です。もうおっしゃる通り、その通りでございます。以上です。
1:17:15	規制庁ハバサキです。9ページの今の説明もあったというところでもう1回確認しますけれども、
1:17:23	三次元フレームモデルって書いてある結果に関しては、この対象部材の
1:17:29	三次元弾塑性応答解析結果から評価した。
1:17:35	結果である。
1:17:36	そういう認識でいいんですか。
1:17:40	大成建設の高橋です。そのページなのですが、断層というのあんまり座屈こいつ ブレースも非線形性を考慮した三次元のFEMの応答解析の結果を用いております。
1:17:53	以上です。
1:17:55	規制庁ハバサキです。そうすると、例えばその層におけるダントツ拘束ブレースのいくつか
1:18:04	どこの層にもあると思うんですけども、それぞれ個々の応答結果、
1:18:10	それが指摘モデルですと元素一律に報告する条件だと思いますけれども、それとの対応を調べるとかですね。
1:18:21	そういう評価っていうのはできるんでしょうか。

1:18:25	1900 万。
1:18:27	タカハン婦取り進め、1 月分座屈構図ブレースが各 1 本運転員どのタイミングでどのように、降伏してるかというのも確認しております。
1:18:42	であればですね、今座屈コースバランスなんですけれども、警防同じスパンも同じような形ももので設定されてされておりますので、その辺綿密事務局で案を添付しているということが確認しております。
1:18:59	よって今失点系モデルでやって座屈構成部品、
1:19:04	断層位置合わせとしてモデル化していることは非常に妥当であるというふうに確信しております。以上です。
1:19:14	規制庁浜崎です。
1:19:16	今説明されたような説明をこちらとしては求めていたつもりなんですけれども、要は引き点検モデルのモデル化が性っていうんではなくてあくまでも三次元の弾塑性解析を正としたときに、今の出品径がどうだっていう話をしているわけですので、
1:19:35	あと、ちなみに、9 ページの結果というのはこれ
1:19:42	どんな地震動も、
1:19:43	状態なんでしょうか。
1:19:47	ただですね、ページの評価というふうには失点系モデルで以遠最大の検定値が出たのとまるっきり同じあの地震は地震のほうも共有し、使用しております。具体的に言いますと、いう精神湾の地震による、
1:20:06	結果でございます。以上です。
1:20:09	規制庁ハバサキです。
1:20:12	というのが、その説明されたような内容をまず説明いただけませんか。それらの比較の前にですね今 9 ページの説明はこれ書いてないというふうに思いますので、その中で、こちら側から求めていたものが、
1:20:29	十分説明できるんならば、逆に指摘をセットするような説明というのは不要なんですね、ちょっとその点を含めて先ほどのダンパーの各層の暗証もこのダンパーの交付状況だと思うんですね。
1:20:46	こちらとしてはその周りの部材の応力状態の応力の再案とか集中の有無ですね、そこら辺を見たいというのが当初から言ってる話ですので、
1:21:00	要は 9 ページの結果についてもっと詳しい説明のほうをまず用意をしてもらおう。それでは等いろいろな内容について議論したいというふうに考えますが、いかがでしょうか。

1:21:14	入ってから出社するように議論いたします中心、評価の金額的には若干通行側端ですね、カ国状況だったりパスその近傍にある、それを支える部材、例えば
1:21:30	そういったところに、確かにおっしゃる通りでありますので、そこにやっぱり比較ですね。
1:21:38	遜色ないでしょというところを整理したいと考えます。以上です。
1:21:44	規制庁の古作です。少しハバサキさんの質問についてもあるんですけど、まずは
1:21:52	三次元と質点系の比較というよりは、まず、実態としてどういう挙動を起こすような構造体なのかという認識を合わせましょうということで、その際には、再三次元の解析結果を
1:22:09	具体的に部材の応答だったりというのを見ていくということが必要だろうということだと思います。その上で設工認の評価としてどうやっていくのかというときに、失点系に
1:22:25	落としていけるということであればそういうこととしていけるっていう説明をされて
1:22:33	具体的に各派波についての評価をしていくというような低下になってくるんだろうなと思いますので、最初までしか会議ということではなくて、15で皆さんが設計にあたって考えていかれたようにですね、こちらの説明も対応いただければと思います。
1:22:51	ハバサキのそういうことでよろしいですか。
1:22:54	規制庁、川です。今調査官のほうからですね話があった通り、のり式で
1:23:00	今まで、あとそのつもりでこちらからもですね指摘ヒアリングしてきたつもりだったんですが地域が伝わってなかったのかもしれないと、先ほど来原さんが言われてる全部材全体と言われてるんですが、我々、
1:23:16	何も全部材をとにかく見ろという話をしてはいるわけではなくて、もちろん代表部材でいいわけで、その代表性ととも含めて説明できればですね、説明してもらう前提であるんですけども、その上で、この三次元モデルの妥当性、
1:23:33	ごめんなさい三次元の挙動を見た上で指摘モデルの妥当性評価の妥当性という形ですね、説明をお願いしたいというふうに考えてますので、
1:23:47	今、認識としては共通なかったということでもよろしいでしょうか。
1:23:52	年度内ですすいません教務読み取りを通じてですね、ちょっと困るんですね、少しずつ

1:24:01	わかりましたし、やはり東亜IPP退屈こそ区別がなかなかというものがしっかり認識いたしましたので、その辺の今あるんですね、輪っか量ですね、だんだんと前ですとかウェブサイトの管理とか、
1:24:19	そういったものが3Mメキではどういうふうな評価になって特殊なものではないかなってというのを設定していて、
1:24:30	あくまで裏面を
1:24:33	見比べるとというのが指摘でも十分表面化の団体というところが話の中にですね整理を進めて説明したいと考えてます。
1:24:44	以上です。
1:24:46	はい。
1:24:48	規制庁コサクです。今の回答だとわかってるのが若干不安が残るんですけど、遣り取り繰り返してもしょうがないので。今週末に提出される資料際にですね、あとどういう構成で説明するつもりかって言うのはわかるので、
1:25:05	その資料を見ておわかりになってるかどうかは判断したいと思います。
1:25:10	ので。資料作成よろしくをお願いします。
1:25:14	はい、それではですって、例えばしておりますけども、聞きました資料を準備いたします。
1:25:23	規制庁浜崎です。すいません。
1:25:26	タカハシさんにお聞きしたいんですけども、座屈拘束ブレースがほぼ元素同位でちょうどローリー報告しているような話をされましたけれども、
1:25:39	一番大きいと言われたSSC湾で気づい軸ひずみはどのぐらいになってるんでしょうか。
1:25:48	大成建設の高橋です。一番大きなところですね確か1.何%っていうふうな気づきだったと思うんですけども、すみません、今手元に名検証データがないので、私の記憶だけなんですけども。
1:26:05	それは確か一辺数パーセントだったと思います。
1:26:11	以上で第9条ハバサキですが、これ前回、相原さんもいましたけれども、今申請と耐震計算書のほうにですね示されているものは横軸は点検なったりということで、今、
1:26:26	ブレスに関しては、用地が軸ひずみ7.2%かなという形ですので、そこら辺もちゃんと限界許容限界に合ったひずみの
1:26:37	結果を示してくださいというふうになりました。で、例えば3ページに今履歴ループ出てますけれども、きちんとその動的な解析をやったときにですね、PLR前選ばれているのかどうかとかですね。

1:26:52	そういったところを確認したいで最大値が今言われたような、確かに 1.7%でしたら、今日地下にはまだ十分余裕があるということになりますのでですね。
1:27:02	そういうアウトプット、こちらとしては確認したいというふうに思ってますので、ちょっと資料のほうですね、こちらに要した情報の撤去ということをお願いしたいと思います。
1:27:15	対応は 1Fの可能でしょうか。
1:27:21	ハラダです。対応させていただきます。
1:27:25	規制庁ハバサキです。あとちょっと冒頭述べましたけれども、基礎も含めた設計体系ということで、今、人は系統耐震建物の 13 から日本にあるかと思うんですけれども、そこで人に関しても、
1:27:43	今ヒアリングの資料だけですと十分まだこちらとしては疑義があるところがありますので、
1:27:54	最終的にはこれは、この今、4Bのこの
1:28:01	ネットの架構のところの資料として説明をしてしてもらいたいというふうに考えるんですが、
1:28:10	そそういう対応でよろしいでしょうか。
1:28:14	α で設計基礎の部分の評価ですけれども、逆等々と、あと竜巻
1:28:22	コンテック流通して整理してましてですね、気相部独立しているので、そういったを一応 3 ではなくてですね、43 万 600 ドルある基礎を整理しておりますので、そちらでのパッケージとしての決定いただければと。
1:28:39	考えております。以上です。
1:28:41	規制庁浜崎です。訂正します。こちらのほうの既存の評価についてもですね説明の方をしてくって参りたいと思います。ちょっと、ちょっと多分評価自体はされてるといふふうに確認しているわけですね。フリーのメーカーさんの話を考慮しているのかとかね。
1:29:01	ちょっと細かい技術的な点も含めて、東北としては確認したいというふうに考えてますので、資料の準備のほうをしてください。してください。
1:29:13	よろしいでしょうか。
1:29:16	はい、そうですね。承知いたしました。
1:29:21	規制庁、古作ですけど、今の話は、
1:29:24	耐震建物 23 は今週末に出す予定って言われた中に入っているものなんですか。
1:29:34	2 点目ですけど、基礎直下はですね、従前からの別紙の皆様に参加してるんですけれども、そこに示していたところですよ。また気相部だけはちょっと一基協会からもできますのでですね。

1:29:51	ムラノの見直しをかけておまして、マニュアルが液超過も影響評価の物件っていうんですかね、極力含められたら、その巻線評価、こちらを出発主査
1:30:08	後ろに添付して示すことはできますフナバレバーの次回提出できるという形になりますとです。
1:30:20	規制庁コサクですけど、
1:30:23	下位話が2転3転というか、
1:30:26	論点が徐々に変わってきたのでよくわからなかったんですけど。
1:30:30	経営室は13日ということでもいいですか。
1:30:35	4点目はですねと23提出美術の計算に既に考えております資料をすべてフルードあって自動で示せるかしますし。ちょっと間に合わなければ、
1:30:52	追伸という形でやっておりますけれども、そんな形で提出を考えているということを申し上げました。以上です。
1:31:06	はい、規制庁の古作です。
1:31:08	23日のヒアリングに向けた資料提示を13時するんですか。
1:31:15	すみません、モリノから理解
1:31:18	資料23の見直しが13、今週末13日に出るっていう話で、その中に今のこの気相の話っていうのはどれだけ入るかっていうのがどこまで見通せてはいないんだけど何か4月のステータスを明らかにして、
1:31:35	13日1回出してであれですよ。最後に間に合うようにまたその
1:31:45	そのステータスで不十分だったところは随時また見直しをかけていってそういう説明だと思んですけど。
1:31:51	いかがでしょうか。
1:31:53	ありがとうございます。しゃべる必要はそういう意味でございます。すみません、説明を受けにくくて、ありがとうございます。えっとですね。すみませんモリノです。資料、資料の番号と引き続きっていうのがグジャグジャになって皆に限ってなかったんで、何の資料だっていうのと、
1:32:11	それとどの時点でどこに出すんだっていうのと最終的な目標は何かっていうのを。ちょっと意識して明らかにしていただかないとあとか誰もいなくなるのでそこはしっかりよろしくお願いします。
1:32:24	それでもハラダですねそういうことですね、
1:32:28	梅の花の使い分け卓越がすべて満たしますとおります。
1:32:33	規程ちゃうわけですよ。資料23のD棟説明ヒアリングは来週あるということでよろしいですか。
1:32:45	はい、全くだ。

1:32:48	9000 向きに資料を出してですね、来週のどこかでヒアリングでいただきたいと考えております。
1:32:56	規制庁ハバサキです。はい。了解しました。
1:33:00	多分、話っているのは、最後、次の資料にも関係しますんですね、今の予定というかスケジュール感ということで理解しました。で、先ほど私の方からできたところからと申しましたけれども、決して我々急いでる。
1:33:19	とかですね、早くとかいう話は全くありませんのですねトウソウ資料作り込みのほうは、きちんとしたできた段階でということで認識いただければと思います。
1:33:30	どうも私のほうからは以上になります。
1:33:35	それでは他形状がなかなか確認があればお願いします。
1:33:39	規制庁カミデです。すいませんあのスケジュールをもう一度確認したいんですけど、
1:33:46	アイシン起電 23 になるんですかね。
1:33:52	耐震建物とか耐震建物 23。
1:33:56	の防護ネットのゴムと気相の情報が入った補足説明資料ついて、
1:34:04	円柱 3 日が 8 月 13 日時点に書いていると、これは
1:34:10	評価的に評価もので、
1:34:13	時間かかるものは間に合わない故きてるけど、整理できているところで一旦出すということでそれは先週のヒアリングのときにも話をした内容っていうことですよね。
1:34:30	規制とその通りでございます。
1:34:36	規制庁関係ですって、その上で、今日取り扱った資料は会合で使えたらいいなみたいなことでしたけど、基礎の話も入っていないし、全体の説明の流れもよくわからないというところで、
1:34:55	配合飼料に向けてというふうな修正を考えている会合で説明する事項ってというのは、どういうふうに
1:35:08	という説明をしたいのかということについて、我々認識を伝えていただけるのはいつになってますか。
1:35:29	はい、今年度から変わってございます。ちょっとパートにして修正後あるかと思えますけれども、
1:35:39	どっかでございますので、中国の週。
1:35:47	していただければ岩着の所じゃなくてマニュアルのかなと考えております。以上です。
1:35:56	規制庁込みですと需要量この集といっても幅は広いですし、今ここで、
1:36:03	そっからイトウばできないという

1:36:07	うん。
1:36:09	ことかもしれないですけど、本会の会合で
1:36:15	前回の会合資料だと8月の最後の開口レースの方も補正に向けて準備をすると。
1:36:23	いう中で考えるのであれば、次回の会合で一通りのことが説明できる。
1:36:30	ということなので、途中段階で来照会ってというわけじゃないんですよね。そう総勢なのに、16の収納率でかというのは、ちょっと困惑をするところですって
1:36:46	細かいスケジュールもちゃんと詰めますと会合で言われていたので、
1:36:51	今即答いただかなくてもいいですけど、ちょっとスケジュール感について、きちんと相談した上でですね、きちんとしたものを渡すっていうのは5日で
1:37:05	この資料についてはきちんとしたものというの、その今方向性が見えないのでその方向性を共有していただくということだけでもちょっと考えても提示できれば13日の補足説明のときに、方向性の認識確認よみたいなものが、
1:37:24	あれば話をしやすいと思いますけど、その点も含めて、スケジュール感をちょっと考えてください。
1:37:33	※ハラダです承知いたしました結果正確に要するに前回の会合でもあります指摘事項をこういうふうにもありましたよねと現地指揮積極それに対してどういう議論をしたいと思うし、
1:37:53	そういった平面図、
1:37:57	認識共有を図るべた打ちかなと思いますので、最後のまとめだったかということもありますが、ちょっと
1:38:06	持ち帰り検討させていただきたいと思います。以上です。
1:38:13	はい、規制庁観点です。よろしく願います。
1:38:17	規制庁コサクです。今の関連でちょっと申し上げておくと。
1:38:21	先週の金曜日でしたかね。宮腰事業部長が市村部長のところにお越しになられて、今の対応状況というのを御説明されています。その中で問題点として申し上げたのは、
1:38:41	ちゃんと問題点は理解をして整理をし、
1:38:46	対処に必要な事項っていうのを認識した上で計画を立てて説明をさせていくということが大事であって、それが対応できていないのは、これまでの問題点だと。
1:38:58	ということで、体制を強化して頑張ってますという御説明だったんですけど、
1:39:05	実がまだ伴ってませんよというお話をしました。
1:39:08	その例示として今話題にしたこと、

1:39:13	体制を強化したとって取り組んでいる現状においても、資料提示が指摘を踏まえたところの部分に対応しているのかと。
1:39:21	ということが余りにつまみ食いであって全体体系かわからない。
1:39:26	いうところをちゃんと説明ができないという体制がやはり人数そろえても実が伴ってないんじゃないかということで例示を私から差し上げています。
1:39:39	で、そういうふうに言われるとは事業部長を持っておられなかったと。
1:39:43	ということで、
1:39:46	そういう資料提示だという認識は僕はありませんでしたってということだったので、
1:39:52	そういう説明ができない人達の部下なんですよということでお話をしています。そのあと皆さんにどう伝わってるかわかりませんが。
1:40:02	今言った通り、或いはこれまでの合わせからの指摘も含めてですね、指摘に対してどう対応するのかってのはこちらから聞かないと回答も出てこないと。
1:40:13	ということなのか甚だ問題があるので、
1:40:19	カミデが言ったように、早くですねその方針については明確にされないと、どの資料でどこまで見なきゃいけないのかということがこちらわからないのでは対応がしにくいということがありますので、
1:40:33	このタイミングで、今週、しっかりと間で整理をして
1:40:40	落ち着いて仕事ができるようにまとめて来週資料提示なりヒアリングなりといった事に対応していただければと思います。よろしくお願いします。
1:40:52	はい、ムラノ部分からですね。
1:40:55	また事業部長で戦って聞いていなかったんですけども、コサクさんのおっしゃる通りですね面とか或いは御説明をとって行くのかなと。
1:41:10	認識がちょっといただくのはあまりないというところはございます。従いましてできるだけちょっと早めですね、んだらうと。
1:41:26	回答するところを早目早めにこちらでまとめてですね、勤務感で説明しようと思ってますけどでしよう、これから行う市町整備。
1:41:43	だから、非常に短時間でと折衝した通り、ちょっと早めですね、意識合わせを受けていただけるかということですので、よろしくお願いします。
1:41:58	以上です。
1:42:02	はい。
1:42:04	はい。それでは当資料の2において他に確認事項がなければ、
1:42:11	まとめを先ほどされたかと思しますので次の資料、
1:42:15	に移りたいと思います。
1:42:21	はい。

1:42:26	はい。次の資料応答
1:42:29	安全冷却水AB冷却塔飛来物防護ネットの耐震設計の考え方議長会規模方針についてまとめている資料でございます。まず最初に資料の位置付けについてですが、これまでの審査を通しまして評価の
1:42:48	新大きな三紀として有効応力解析で実施するという事で評価をしてございます。それについて要点のみを今回の資料でまとめておりましてこの前の推薦次回の会合に向けて、
1:43:05	来ジャパんとというところの認識を合わせたいというところがこの資料のポイントとなります。項目としましては一番最初に系統全体方針を示しているところはこちらで、
1:43:20	功刀OOIというところが、肝になるということをやる解析により確認しますということを書いてあります。二つ目のポイントとしましては、有効応力解析は解析条件であったり物性値の設定というところを説明したいと。
1:43:36	いう内容です。さらに等の部材評価というところで所解析によって直接この評価はできるという姿勢が確認できるということで、そちら確認することと、活動の評価。
1:43:52	施設全体が案に対する水の評価を実施しますということをお求めでございます。
1:43:59	資料の概要以上となります。
1:44:02	はい。それでは規制庁側から本資料について確認をお願いします。
1:44:08	規制庁のハバサキです。カミタイラさんの説明の趣旨をもう理解したんですけども、要は、この資料としては等が防護ネット基礎を含む積×的影響に関するですね。
1:44:25	評価或いは選定の考え方を。うんについて液状化評価の影響評価の全体像をこういう形ですなわち有効応力解析を三城として今後進めるという、そういうふう理解しました。で、要は、
1:44:42	有効応力解析の部分だけを切り取った話ではなくて、
1:44:50	イトウ及びボンネットの学的影響評価の全体方針を説明されたというふう理解しましたがそれでよろしいでしょうか。
1:45:03	はい、日本のカミタイラです。はい。おっしゃる通りです提案Bの飛来物にならないというのをはっきり言って液状化に関する景況をすべて説明していくということで考えております。以上です。
1:45:19	規制庁ハバサキです。そうすると前回もですね、介護のときに、その地盤の剛性低下の話とか、それは改良地盤であったり杭であったりですね、それに関しても、当評価をこれから有効応力解析
1:45:35	を用いて行うという認識でよろしいのでしょうか。

1:45:42	はい。日本原燃カミタイラです。おっしゃる通りです。東翼解析の結果で評価しますと、ただ一辺倒地盤の説明というものはこれまでしていたんですけども、これまでにはちょっと評価を終えて段階的に行っていたんですけども、今回条項の解析を用いて、
1:46:01	一番改良等も杭も頂部構想
1:46:05	そういったところもモデル化しているということで直接杭の評価を実施するというので、改良体の評価というところでは除いてもいいというふうに考えて進めております。以上です。
1:46:24	期中ハバサキです。
1:46:29	今の話っていうのは本来の説明の資料のなった。
1:46:34	dは具体的にどの部分的説明されたんですか。
1:46:50	日本原燃カミタイラです。
1:46:53	先ほど説明書の内容について具体的にこの資料の中には記載がありません。右下に記載があるまでの中で一番改良体というものを一緒に消化しているということで、最終的に申請の担保できる、
1:47:11	杭の健全性を確認するということは確認すべき項目だということで今考えておりますページで当組合資料の中に評価の全体からみたいな流れを記載できておりませんので、そちらについても、
1:47:27	頂部構造の飛来物がネット全般の評価の考え方ということで全体概要研磨改めて示させていただきたいと考えております。以上です。
1:47:42	しちしちハバサキです。今の説明は理解しましたので、確かに今、これ1枚しか市場がないんですね全体のその体系といいますとフローとかですね、あと、当解析条件等についてもですね、
1:47:59	最終的な結果が
1:48:01	いきなり出るんじゃなくて、やはり解析条件、要は当検討対象としている地盤の適用性だとかですね、妥当性ずっと意見を根拠となるエビデンスを含めてですね説明をした、してもらった上での
1:48:18	進捗があるというふうにごちらで理解してますので、そういった情報の提示も含めてですね、今後、準備のほうをお願いしたいと思います。そういうそういう進め方でよろしいですか。
1:48:32	はい。日本版カミタイラです。おっしゃる通りです。
1:48:39	はい、提出した資料としては、かようのみ示しておりますので、本来、一つ図がないようなことを積み重ねていきまして、別途確認いただくということで説明していきたいと思っております。
1:48:52	スケジュールにつきましては時間中9日にこちらの有効応力解析

1:49:00	いいのを解析条件で評価の進め方といったところをちょっと今日示させていただきたいということで考えております。以上です。
1:49:09	規制庁ハバサキです。ということは、13日に資料提示があつて19日にヒアリングという、そういう予定でよろしいですか。
1:49:21	はい。年目のカミタイラです。途中3日に提出を予定の太田市ナカガワ23年メーカーでちょっとすべて早くできるかちょっとまだ調整している項目ありますので、
1:49:39	できる範囲で、そちらでは予算差整理いただきたいと考えておりますので、19日抵抗して先ほどの
1:49:48	いましたのが19日にその液状化関係の資料をお聞きすると。
1:49:57	有料にターゲットを計画しておりましたので、
1:50:03	19日にした通り、
1:50:06	解析条件等個別評価の考え方を示すということで考えております。
1:50:14	規制庁幅以上です。はい規制庁はできるそうすると先ほどのその条項もヒアリングはまだ決まってないんですけども、それとの対応があるんですね。そこで効果効率的なスケジューリングの方をお願いしたいと思います。
1:50:30	で、ちょっと内容に関してなんですけれども、右下にモデル図がありますけれども、これ今、地盤っていいですか下部構造だけなんですちょっと上部構造についてはモデル化されてないんですが、
1:50:48	現状は持ち分構想はどうされるんでしょうか。
1:50:55	はい。年目カミタイラです。ええと上部構造につきましては、系統冷却塔／規制します竜巻基礎と書かれている。溢水量といいますか。いずれも
1:51:10	そうなるんですけども、こちらも授業の中に上部工証明ちゅう量を面積案分したものをするという方針としております。
1:51:21	以上です。
1:51:24	規制庁ハバサキ月がそういう説明を今後していただく形になるんですけども、例えば
1:51:32	基本はですね先行Pのを踏まえ、重要度道路構造物で同じような有効力解析する場合にはやはり市典型例もあるからの0乗個ほどのですね、作る場合があり、上部構造の応答性状が下部工Pどう影響するかっていう点も、
1:51:51	ありますのでですね。
1:51:53	受領だけその時当該に発注するのが本当に妥当なのかどうかという観点もありますので、

1:52:01	ちょっとそういった観点も踏まえてですね、詳細な説明、あと例えば有効力解析ですと、対応地盤或いはフジノ周囲をアプリとかですねSBO同感考慮するのかしないのかとかですね。
1:52:17	先行で、
1:52:19	かなりこういったことっていうのはやられてますので、そういったものを踏まえて、いろいろ
1:52:25	じゃ、質問したいことがありますのでですね、その対応の方、準備のほうをお願いしたいと思います。
1:52:33	よろしいでしょうか。
1:52:36	はい、日本原燃カミタイラです。
1:52:41	今いただいた点。
1:52:44	承知しました先行炉の実績として本店さんとハバサキの状況等も確認しておりますのでそれと、
1:52:56	A-2、評価項目、具体的な解析条件
1:53:02	オオハシと評価条件であったり、物性値の設計、特に液状化対象としている話なのを、
1:53:14	液状化強度を未設置であったりということとは、特にきちっと記載をして説明させていただくことで対応して参ります。以上です。
1:53:25	はいきちゃうわけです。いろいろこう入ってるといいですか、いろんな詳細なんですね事項で質問した1点あるんですが、現状もこの資料だけですと、ちょっと空中戦になりかねないんですね、資料提示を受けてから、こちらのほうで十分吟味したいというふうに考えますので準備をお願いします。
1:53:45	私からは以上になります。
1:53:49	規制庁が、どうぞお願いします。
1:53:54	規制庁感じです。
1:53:57	これも介護、
1:54:01	どういう説明をするかっていうのはあまりよくわからないんですけど、先ほどの上部のネットの話と同様に今週中にある程度方向性っていうのを示すと示してもらってということは可能です。
1:54:21	日本のカミタイラです。向けての審議についてちょっとお話をさせていただきたいんですけども、勘定。
1:54:33	回戦えええと解析にやっぱり解析の解析条件、モデル校妥当性といったところを一つの確認項目、
1:54:45	あとまたおかしなことなんんですけども、全体の方針、考え方というところと解析条件、それと、この爪部材も含めた評価であったに活動の評価、こちらの

1:54:58	評価の考え方、評価写真という評価方針といったところでパンパンまでの
1:55:05	ちょっと考えております。
1:55:09	ちょっとその辺りに少し
1:55:12	最後に向けての使用ということで
1:55:16	13日までに構成を整理しまして
1:55:22	提示させていただきます。以上です。
1:55:27	はい、規制庁歓迎す会合の
1:55:32	議事なり映像周りを仮にいただい杖900台側の塾率っておっしゃったようについてもらった上で、そういったものを作っていないと考えますと、レスポンスし、例えばこちら休日等の資料で、一つ目の矢羽
1:55:51	はじめまして掲示板という的にですね、こういうことか確認しますと言ってます。それがなぜかっていうところから、まだ整理できてませんねという話があって、
1:56:04	そういったところ、
1:56:06	認識されてると思うんですけど、これだけ見てを認識されないのか、勉強させてしまって、認識が確認できるよう対応願います。
1:56:21	そうですね、59年のカミタイラです。ご指摘承知しました。これまでね、コメント事項をしっかりと対応できるように進めて参ります。以上です。
1:56:32	規制庁コサクです。
1:56:35	最初の地盤の話、その次のうわもの話、そして今の話と毎回いろんな同じような話をしてるような気がしていて、何でかなと思います。
1:56:49	出たんですけど、先ほど宮腰事業部長と市村部長との
1:56:55	面談での話を申し上げましたけど、結局そこに行き着くのかなと思っていて、
1:57:01	先ほど申し上げなかったらもう1点ポイントになるのは、うわもの基礎地盤という
1:57:09	ようなところで、或いは綺麗に建物土木かもしれないんですけど、それぞれの観点で群列をしてしまっていて、縦割りで連携がとれていないとか倉庫に全体を考えて整理をすると。
1:57:25	いうことができていないっていうことの問題点も話をしていますんで、結局はこないだの会合での言ったのはその全体像をちゃんととって連携を図った泥質
1:57:40	提示をしてもらわないと、一体としての設工認として審査ができないということを上申したというのが根本だと思ってまして、こういうふうに資料がそれぞれバラバラ出てきてもですね、回答にならないんですね。
1:57:54	っていう点で個別の詳細についてはそれぞれ担当からっていうのはわからなくはないんですけど。

1:58:01	全体像を示すっていうのはやっぱりちゃんとしてもらわないと。
1:58:05	結局それぞれがバラバラになってて本当にそれでそれぞれ見てとれるのかってのがわからない。
1:58:12	いうことになってしまうので、
1:58:14	今日最初の資料は、ここだけ
1:58:21	鍵があってですね、その次の資料はロジックという形で考えていかないんですけど、
1:58:30	まず最初の資料が最後に向けてというようなことであれば、その中で全体像を示してそれぞれの関係性というのがわかるようにすると。
1:58:40	いう対応を早期に諮っていただくということだと思います。そうすると、のすこの資料自体は一番の話として 19 日に定例再提示しますっていうことだったような気がするんですけど、今の話については 10 国と言わずに、
1:58:56	13 日なのか、来週頭のパワー早々作っていただいて、全体像を見た上で、ヒアリング
1:59:08	人望むというふうにさせていただきたいなと思います。
1:59:14	その点では 13 日にできれば、他の補足説明とあわせて出してもらったほうが、それぞれの不足も言いやすいんですけど、作業としてはいかがなものでしょうか。
1:59:29	はい、日本原燃カミタイラです。今ヨシダ経営の話ですから全体の考え方といえますか、評価のところであったり、異論等を基礎と
1:59:44	上部構造基礎基盤でもない世帯が全体の流れというものに応じて 3 日示す対応を進めていきます。
1:59:54	以上です。
1:59:56	はい。規制庁コサクです。今カミタイラさんが答えられたんですけど。
2:00:00	先ほど言った三つの視点にそれぞれ担当がいてですね、それを束ねる語って今いらっしゃいます。
2:00:16	はい。
2:00:19	すみません日本原燃の話し合うと困ります。事務局長おっしゃる使ってますけれども、初期状態指針全体感としておりますので、私のほう通りですね、各部門からお話を聞いた話を整備し、技術的なところを整理するというようなところでございます。
2:00:38	いや、何か規制庁コサクですすみませんお名前が聞き取れなかったもので、もう一度対象検求めるさようでございますませ、

2:00:48	規制庁コサクです。わかりました。中沢さん、事務局っていうことであって、本件の内容についてフォローするのはちょっとあの厳しい立場の方とは思いますが、
2:01:04	ナガサワさん自体は発表できると、多分、個人的にはですね、できるかどうかと思しますので、
2:01:12	適切にお伝えいただけますね、対応が図れるように、その事務局として落ちするという事はやっていただきつつ、よろしくお願いします。
2:01:24	4番目の一部分ですが、拝承いたしました。
2:01:32	規制庁からほかに確認事項あればお願いします。
2:01:43	よろしいですか。
2:01:45	それでは、
2:01:48	うん。
2:01:49	それでは2時間過ぎましたので、1回休憩を挟みたいと思しますので、15時45分再開としたいんですが、現にいかがでしょうか。
2:02:02	以上ですはい。大丈夫です。はい、それでは、/45分再開でお願いします。
0:00:02	うん。
0:00:03	はい。規制庁モリノです。それではヒアリングを再開します。
0:00:07	それでは補足説明資料の説明の事実確認に移りたいと思います。
0:00:13	それでは原点からまず資料の紹介等々、
0:00:17	端側で説明したいことがあればお願いします。
0:00:23	今回の検査がですね、ちょっと資料の順番ですけども、大変申し訳ないんですけども、本当に本番の資料より先にし設備側の資料ですね出席者の関係上そちらをやらせて欲しいなということで、まずやらせていただきたく終わらせていただきたいのは耐震基準13。
0:00:42	14
0:00:45	この形を先にやらせていただきまして、その後今の4番。
0:00:50	後ろの方で時間がある中でやらせていただければと考えております。その他前にチラシ施設課側から説明をよろしくお願いします。
0:01:08	はい。南のハラダでございます。それはまた新規で13万かもしれないトリチウムます生協が8月3日提出資料になります。違いは雨前回意味を説明しまして、沢山コメントいただきまして、それであろうした形で、
0:01:28	下になります。見直しだけでは下線で示しているということでございます。
0:01:35	委員長。
0:01:39	はい。それでは規制庁側からの確認を充実させるようにお願いします。
0:02:05	予算

0:02:11	規制庁カミデです。人持たし凍ら何店舗とつくにします。
0:02:19	まず、
0:02:21	14 ページなんですけど。
0:02:27	(4) 番の記載は素地が
0:02:33	ちょっとよくわからなくて、
0:02:37	これで何か技術的な妥当性が全然説明されてないような気がするんですけど、
0:02:48	この変動イトウというか
0:02:51	なぜモデルを変更していいのかっていうのも少し説明いただけますか。
0:03:05	日本原燃の石松です。
0:03:08	記載につきましてですけれども、記載させていただいてるのは土地の
0:03:15	耐専パッケージパス典型モデルですね、県エイズ値でいきますと、ちょっと中計ページの記載させていただいてます通り吸気設工認時はですね浮きます点検までのSteamとしまして評価を実施しておりましたと。
0:03:32	今回のトーセの今回の申請におきましてはすり切りはりモデルをす 30 るモデルですね押しをさせていただいておりますという、そういう状況となった経緯について記載させていただいておりますとその系統といいますのは、もともと貯水池二つといけないってところは基礎ボルトの応力が集中しておりましたと。
0:03:51	ところで、
0:03:52	基礎ボルトへのですね補強というのは
0:03:56	うんですというところがあります停止内部スプレイ、そこからですねと感ずるとかですね本当にたくさん図るためにですね、評価モデル破損時やっぱりモデルに変更しましたよというところまでを検討して、ここで説明させていただいております。以上です。
0:04:33	規制庁モリノです。音声が途切れているようですが、発言。
0:04:40	どなたか再掲なんでしょうか。
0:04:44	日本原燃の石松です。ちょっと見れません。
0:04:50	カミデさんどうぞ。
0:04:54	規制庁カミデすみません、ちょっとこちらの通信状況が悪いようのもう一度入り直しますのでちょっとほかの件を進めておるとのことですね。
0:05:07	はい。
0:05:11	規制庁ハバサキです。今のモデルについてもいろいろせ、こちら質問があるんですが、ちょっとそれはそうだとということで、まず
0:05:22	13 ページからなんですけれども、前回の資料よりも管理はもうRevゼロですね、比べてマスキング箇所が本当に増えてるように思うんですが、

0:05:39	何かその理由はあるんでしょうか。
0:05:58	人間の島先生円筒のマスクング箇所の件ですけれども、中身の評価の中身についてはですね、そういった評価を記載の値をさせていただきまして、その結果その冷却塔の状況等ですね 200 台もということからですねます場所に流れてしまったと。
0:06:18	以上です。
0:06:21	規制庁ハバサキです。わかりました。基本的にはこのレベル 1 が政令案ということで、そういったすればよろしいでしょうか。
0:06:31	お願いします。その通りでございます。以上です。
0:06:38	規制庁浜崎です。
0:06:40	ちょっとまだため池のほうが繋がってないみたいなので、そしたらちょっと先ほどもビルについて何点か確認したいんですが、その先ほどの 14 ページの文章等対応で 19 ページのモデルですね。
0:06:56	について説明をされました。まず時工認一軸として設計モデルというのが、兵庫に出てるんですけども。
0:07:07	このエレベーションなんですけど。
0:07:10	これって今のNFBのエレベーション延びると違うんですが、
0:07:17	負荷の違いってというのはどういう理由なんでしょうか。
0:07:27	少々お待ちください。
0:07:48	西松建設、ご指摘の件ですけれども、申し訳ございません、ちょっと記載をさせていただいております。一軸立ち退きモデルですね、こちらちょっと成分の設計プロセスのところですね間違っておりましたので、ちょっとここは修正させていただきます。以上です。
0:08:08	規制庁浜崎です。
0:08:11	じゃあ来既設工認値のモデルは、これ見ないほうがいいということでしょうか。
0:08:18	ミカシミズです。ここに記載さも見せておる。
0:08:22	バスモデルですけれども、ちょっとこちらのほうにですね、モデル、
0:08:28	になりますので、こちらですね、bの方に返していただくんですけども、それですねご指摘の通りですねカバーがあるうちにやめ既設高レンジのモデル化です。
0:08:39	インテグレーション以外はですね一緒になりますので、そんなに簡単ですが、いただければと思います。以上です。
0:08:46	規制庁ハバサキです。今の説明は了解しました。
0:08:50	ちなみに、これ時運転があと粒子がに関しては、

0:08:59	床ばねがあるかと思うんですけども、
0:09:03	今回のモデルは床ばねを外されている。
0:09:06	またモデルになったという、そういう理解でいいですか。
0:09:15	規制庁法第十三—というはですね今回ずつ工認のモデルなんですけども。
0:09:21	昨年申請書の中で、耐震計算書の中でですね、示されているモデルと
0:09:33	その 19 ページの更改申請時のモデルが違う芸
0:09:39	要は申請時には失点系モデルだったと思うんですけども、ちょっとそこら辺の対応が今ひとつ理解できないんですけどちょっと説明いただけますでしょうか。
0:09:51	日本原燃の石松です。今ある指摘いただきましたモデルという中で進めてもまたといいますか雨いみじくもやはりテールモデル化定年ですけれども、そちらの部分につきましてははですねと規則にある通りですね算出するのに示しているモデルでございまして、
0:10:09	ここに記載させていただいておりますエムスリーのですが、今回移設今次の記載させていただいておりますモデルにつきましてははですね、自主なの。
0:10:19	違ってる解析ですとかあとマニュアルがですね、イトウ機器内で機器あたりですね、加速度を算出するための地震動解析を実施するためのモデルとなっておりますので、色が違うということになってございます。以上です。
0:10:35	規制庁浜崎です。を理解しましては、引き続き測量等上部の機器用のモデルが違うということだということなんですけれども、
0:10:45	いえ。
0:10:47	それモデルを変えた理由っていうのは、
0:10:50	何なんですか。どこ記載ありますでしょうか。
0:11:09	日本にしますとちょっと今のご質問もですねちょっとちょっと確認させていただきたいんですけどもね。伴わ進行しているといったようにおっしゃっていただいているのが、こちら規則なりを出すためのレベルから、
0:11:23	住林についているというご質問でしょうか。規制庁ハバサキです。普通、地震応答解析をやる、例えば輻射モデルがあって、楡田モデルが試験位置の応答から企業の
0:11:39	音スペクトルの企業の設計をすると、その失点系モデルの応答から基礎も設計すると思うんですけども、今回は来企業と競い合うのモデルを変える理由について説明をしてください。
0:12:15	日本原燃の吉松です。今の御質問の件ですけれども、多分人も今日出すため設工認申請書の記載させていただいてるプロジェクトベースモデルというのが質問飛ばすため目標となつてございまして、
0:12:31	Ⅲの 38 ものにつきましては、今の評価をするために、

0:12:38	使っているということになります。
0:12:42	以上ですすいませんヤマタネサービスこれもう等のカミデさんの指摘と本当はハバサキさんのほうからは 23 回目のヒアリングのときに指摘されたって十分理解してますので最終的に今公共だけになってしまうので後で資料修正が必要になるんですけども。
0:12:59	考え方としましてちょっと補足しますとですとか建屋の本当らしいところというところで対象物が冷却ということになっているので非常にわかりづらい格好になってまして、この建物に置き換えた時っていうことで考えてみますとですね。
0:13:15	なので、もともと本当出すときにキシノのモデルを使いますというところになってます提訴込み等機器側の条件っていうところでローリングデータを上げまして、出しますと、そこで出てきた時刻歴からFRSをつかって評価をやると、そんなときにFRSを用いて北側の強化という
0:13:35	例えば計算やってるものもあれば、FEMやってるものもあると。そうなった時により照査ガイドを用いるというときには、計算も本当にピンポイントで持ち帰るっていう対応しますっていうところになりますと、ところが冷却塔の話で考えまして、取り出すとこれまでは、
0:13:54	このキシノモデルを使ってまして、そこから出てきたわけで、まずは電波の根本榎田モデルいろいろやろうとしたんですけどもそれでやった場合に、基礎ボルトがかなり苦しいというところで詳細のほうで作るっていうことで、
0:14:10	知事困む評価をやるときに、これ資料を用いたっていうことになってるっていうのは、この関係性になってまして、そこが 14 ページにいったことだけ書いてまして、その妥当性っていうところを食べましたので、その一連の流れというところがこのかからないと、今の回答にならないかなっていうところで、
0:14:29	考え方については以上になります。
0:14:33	規制庁浜崎です。今のご説明でわかりました。失点系ですとHとV層の評価の厳しいということで、ものをモデル化を出展系ではなくて三次元のフレームモデルで
0:14:49	地震応答解析を行って時そごがどうだったということで、そういう趣旨で理解をしましたが、
0:15:00	実機波ずっと
0:15:03	基礎ボルトっていうことはこれと。
0:15:06	例えばP支店元素転倒モーメント等として評価できるんですけども、その検討内容と或いは接地率のような形での
0:15:17	浮き上がりが非常に厳しかったということになるんですか。
0:15:21	一言も厳しいっていうのは、

0:15:26	※2 サガワです。当期その部分的な評価に使うときの反力がかなり大きくなっていたので、ここより詳細にすることで、例えば一つの視点から出てくる反力が逆にあった場合に、それを
0:15:40	分散していくという観点で行った時に視点が一つだったものが10個なり学校なりになりますとそこで解析のほうから出てくる反力っていうのが100であったものがこの部材に対して90であったりこれあったりということで分散してたということで対応したっていうことで御質問に関しては規制の反力が大きかったっていうことになります。以上です。
0:16:03	イトウ吉ハバサキケース失点系、例えば建物建物ですと質点系から転倒モーメントを出して、鉄塔基礎位置に当検討もイトウをかけることによって、各1の
0:16:18	転倒モーメントなり引き抜きっていうのが出てくるわけですけども、その評価は平年保持の基礎の過程では厳しかったので、ここの基礎ボルトの位置の反力を出すことによって評価ができたということなんでしょうか。
0:16:38	その場合に、
0:16:41	もし、
0:16:42	30億円モデルのもう
0:16:47	集客位置の固定条件っていうのは、これ固定でやってるんですかそれともさっき言った平面法人の仮定で解析をされているんでしょうか。
0:17:02	上の皆様ですし、すいません、ハバサキさんのご指摘はあの解析の資格というところですかそれとも実機の甲状腺っていう
0:17:11	後で答えてという言葉を使いになったのかそれだけ教えてください。
0:17:15	聞いちゃうわけですよ。解析の仕方が解析モデルでの考え方になります。
0:17:22	はい、南さんがですね、本当発信部分ですよ、これ実際の冷却塔の足の保存というのがちょっと自分構造まではちょっとはつきり言えないですけど10分あったら十分を等高線図にのっとってモデル化をしますと、それを開始。
0:17:37	来しようとした場合に左側の解析としましてはその足の部分を、ちょっとこれ解析の手法ですべて一緒になってくるんですけど、無線で上げるとしてラジウムあそこっていう方法がありまして、そこで大丈夫そのところにあるシステムを作ってあげまして、そこに地震力を入力して各橋の
0:17:56	本当に確認するというのが綺麗なやり方になってますのでそのようなやり方をしていますと、そこに浸透足の部分の固定条件は実機に沿って予定なのか指示なのかっていうところで確認してるってことになります。このこの辺ではない。
0:18:12	2本目のイシバシですね、ウェイトマンかする作業の冷却機能脚部ですけども、こちらは基礎課程のモデルでモリノ使用しますですね評価を実施しております。以上になります。

0:18:25	金融庁浜崎です。先ほどそもそも同じ方向で応答解析をやってるという状況で大体理解できました。今そういった部分ですね説明を補足説明資料はべしですので、
0:18:44	もう少しその丁寧な説明内容についてですね説明が必要かなと思うんですけども、何か差し障りとかがあるんですかそれがないかなと思うんですけど。
0:18:59	FMサガワですので、そこは先ほど御自分の方から説明入る前に見直したところになってまして、カミデさんも指摘というのが下のページで何ページ。
0:19:12	14 ページのところの指摘にありましたのかというようなところですね、ここで妥当性っていうところが見えないという指摘がありましたというところになってますんでここに書かせていただいている内容としては既にしか書いてございませんので、今のカミデさんとハバサキさんの質問に対しましては、とにかく出すっていうことで、
0:19:31	あとそのモデルの妥当性を欠くことによってクリアできるかなということで考えているということになります以上です。
0:19:39	規制庁川崎です。今この資料ですと本当に中身の内容のためにですねサガワさんの説明というか、内容の、もう少し詳細な話をですね、出していただきたいというふうに思います。
0:19:53	とりあえずハバサキの会場になります。
0:20:03	規制庁感じです。すいません。今 14 ページの話はサポート存亡行方されてるの形でトピック出させていただくということでよろしくお願いします。
0:20:17	なんていうか、
0:20:18	従来保守的だったものを精緻化したっていうことなんだろうとは思うんですけど、なぜそこを精緻化していいのかというぐらい見込んでいた余裕っていうのは本当に細かくていいのかというところをきちんと入っていただきたいと。
0:20:35	思います。よろしくお願いします。
0:20:41	多分西松建設承知いたしました。
0:20:46	はい。規制庁カミデです。あと、あと 20 ページのフローの中身がよくわからないんですが、これはもう話それましたかね。
0:20:59	千原です。
0:21:06	規制庁カミデですが、ハバサキさんがもう一度発言いただけますか、規制庁ハバサキです。20 ページのフローに関しては、私も聞きたいことはあって、まだフローについての質問はしていません。
0:21:22	規制庁カミデすごくありましたので、
0:21:26	それで 20 ページの話なんですけど、
0:21:33	通常のやり方等、違う。

0:21:37	フローになっていると思うんです。
0:21:41	それがなぜかというとき冒頭のお話にも関係はすくつ
0:21:48	と思うんですから、
0:21:51	名などこからおかしいと言っていったらいいかわからないぐらい、何か特異な感じになっているとは思ってるんですけどちょっと20ページのフローにした理由っていうのをちょっと簡単に説明いただけますかね、ポイントでいいんですけども。
0:22:23	日本原燃の石松です。ちょっとスクラムした検討した理由といえますか。ちょっとフロアですね
0:22:34	アンケート評価手法標高ですね、委員と話して作成した場面になってございまして、まず先ほど説明させていただいた来そうなるって言われてる例えばですね時損。
0:22:52	起訴状めの設計用地震動の算出という言われるところになってございまして、こちら※コンペでこちらがですね基礎での東端でありますけれども、この規則において用いまして、そこから二つ分かれましてというところで見ますと、一つが、右側ですね設計を向こうと曲線、こちらFRSになりますけれども、
0:23:12	FRSの作成をしております、とすればかもですね、応力解析を実施しますと、
0:23:18	もう一つの方がですね、ちょっとその自主跡地北陸カワムラ切りましていた事象解析のSPEEDIのモデルですね、メールこんさせていただきました、各システム課桜井です。
0:23:29	そういたしますと、できる形の算出ということですね、Reactorナカムラキシノやめ機器ですね、機器配管系でございますのでそちらないといった評価を実施いたしますのにかそかつかつで算出いたしまして、その加速度を用いて落とし等の応力評価であったりとかあとファンド的な位置等々もですね。
0:23:48	これを実施してございます。
0:23:51	2 サガワですって完璧にカミデさんの質問に対して端的に申しますと機電目線でだけ評価の内容を変えたということになってきますので、カミデさんばかりに入っていくところとかについてハバサキさんとやりとりした内容っていうのは、この赤枠の手前っていうところになってきて、そこがちょっと抜けてるっていうのがあって、
0:24:10	2点目として、ツガネ目線として書いた割には、この地震応答解析っていうところと地震応力解析っていうところの言葉の使い分けがちょっと正しくないのかなというところですけども、キシノで解析で最終的に一緒にして応力を出していることをやっていますのでその辺をちゃんと書き下して1、

0:24:28	流れを書かないと、イトウカミデさんがいるプロとしてちょっとわかりづらいなというところで考えております。以上です。
0:24:41	規制庁カミデです。まずRSの基礎の応答解析モデルっていうのが失点系のモデルっていうことなんですね。
0:24:52	日本ユニシス、
0:24:54	認識の通りでございます。以上です。
0:24:58	まず規制庁カミデですまずそれはあ見せていただいたと思ったりやすくて、
0:25:05	その上で、なぜFRSを作成。
0:25:13	スクリーンの
0:25:15	は、
0:25:18	よくあるか、地震応力解析なるものを
0:25:23	真ん中の地震応答解析の結果からやればいいじゃないかとも思うんですけど。
0:25:31	そうしない理由はどういう
0:25:34	今後です。
0:25:40	汲上にサガワです。これ先ほどちょっと神谷さんとマイクきれてないときにハバサキさんに説明した内容と重複しますっていうところでは。
0:25:48	今回の計画とっていうのが、結局はこれである一面では、建物のかわりにされていなかったものに置き換えた場合ですねと、ある一面では機器の代わりというところがあって、そのレファレンスとか時刻歴つくるときは、本当に支持架構っていうところは多いと。
0:26:07	解析でその基線のFRSを抜き出しますと、時刻歴を目指していきますと、その時刻歴かなFRSの作成しまして、今度は支持架構機器としてとらえた場合に支持架構自体の評価をするというのが右のほうに流れていきますと、
0:26:24	左側っていうところにつきましては、今度はとても無理をしている所ときの冷却系の観点をちょっと会計まして、そのときにどうなるかって言いますと、この冷却塔の上にネットの設備に対して、今度は建物がありなんでFRSをつくったり、ZPAを抜き出したり、
0:26:44	っていうところですね、今回の冷却等の設備がすべて剛な設備になってきますので、冷却塔で機構冷却とPCの方と解析から抜き出したZPAで評価をやるっていうところぐらいですね、やはり書いてるっていうところなので、
0:26:59	左っていうのは少しずつやるのが違ってることを表現しシステムつもりなんですけれども、表現できてないっていうところが今の現状になってるところになります。以上です。
0:27:12	今日関係です。

0:27:15	ZPA自体は、基礎の応答解析モデルでも損失を可能とは思いますが。
0:27:21	それでは、
0:27:24	なぜⅢに一旦入れて評価し直すんですか。
0:27:35	はい。
0:27:37	日本原燃としましてですね、
0:27:41	今のZPAの算出につきましてははですねまず一つ目としましては各フロアごとに野党案のp-東京ですね算出しているところの一つとしましては、より精緻なZPA延ばすために、等価交換する。
0:27:57	住林の春山鶴来さんにやはりモデルを使用してより詳細になってとぴあサービスとしてそのZPAによるいただけると。
0:28:06	印象があって、ちょっとヨシダにですね3時半にモデルを使用して統一チームと解析を実施して実施しているということになります。以上です。
0:28:18	規制庁上出です。最初に弱いとフロアごとに出したいっていう意味だとまさに基礎の応答解析モデル
0:28:27	てフロアごとに失点を打たれてると思うのでその応答を使えばいいんじゃないかと。
0:28:34	うん思うきますし、ちょっとその疑問が解消されてないと。
0:28:39	あと、精緻なという意味もよくわからなくて、
0:28:45	普通に考えると、普通に考えるということは多分、耐震計算書点もZPAで表に表されてたと思うんですが、相当なので、結局3知見でといったところで各層レベルの最大の加速度を保ってきただけっていう
0:29:05	こと。
0:29:06	だと思うんですね。そうすると、
0:29:09	別に設置っていうのがよくわからなくて、例えば機器の位置毎のZPAで評価するんですとか何かそこまでやるのであれば政治なんていう言葉も、離型るのかなと思いますので、今の
0:29:24	政治なんていうのは、執権系よりも低く抑えたいっていうだけの理由に聞こえるんですけどちょっとその点いかがですか。
0:29:44	日本原燃します。Tallすいません私の言葉を悪くちょっとあったと思うんですけども、まず、運転規則キシノモデルとしましてはですね、先ほどのですね、19ページの円筒モデルのようにですね、各階層ブースティングがなくてですね、ルート1、
0:30:01	位置関係のモデルになってございます。今までうちのコサクか二相も一方っていうところがですね、今の柑橘モデルではですね、少なくですね、それはま

	ず基礎ボルトはそういう現状になってございます。次の質問でいうと静的なっていうところなんですけど。
0:30:21	当初につきましてはですねオフィスで言葉があったというと大変だったかなとは思いますが、プロジェクトなどですねフロアの地震応答解析を実施しまして各フロアもテラス全体的に見ましてですね、その中の核種っていうのは全部知ってる中に一番わかりながら、
0:30:40	ちょっとページとして提言と使用して評価を実施しているということになってございまして、そこまですかね本当にもともと一時欠陥の地点のレベルだったためですね各フロアの応答が出ませんでしたと、また三次元で各フロアの設置とダストしたらそこも含めた盛大にちょっとPR消失。
0:30:59	評価を実施していることからですね、こちらも見れるし直すと3とキシノと解析を実施しているということになってございます。以上です。
0:31:10	規制庁カミデです。
0:31:13	今回Ⅱ面関係／閉マスキングなので、
0:31:20	都市博に取材にすごく例えば19ページと
0:31:28	PN転嫁は減りっていうのは、
0:31:31	TMSLの数からするとですね、3層になっているの3フロアあると私は見ているんですけど、
0:31:44	今おっしゃるのは、これはすべてのフロアに。
0:31:47	ちっ添加置いてあるわけじゃないかということであれば、杉井モデルにおいてはこれ、
0:31:55	何層になるんですかね失点で3に対してスピーディーは幾つになります。
0:32:04	日本でもイシバシです。
0:32:08	今御指摘いただきましてですね、既設工認時には沸騰モデルにつきましてはですね、こちらの、先ほど話す記載からですねご質問いただいたときに、円筒お話しさせていただいたんですけども、こちらが拝聴カミデさんのカミデさん。
0:32:24	そその説明も私は若干聞いたので失点系と何フロアあるものは、推移でマクロですという回答だけです。
0:32:43	はい。
0:33:04	規制庁カミデですちょっと空中戦になってしまう。
0:33:09	しまいますし、そちらの説明。
0:33:14	ブリードだけを聞いてもなかなか理解が進まないところなんで、1個提案としてあるのは本20ページのフロー。
0:33:25	これはあの冷却塔、

0:33:28	だっけなんですかね可能、もしくは、これはいえ、再処理施設の構築物というけれどもすべてこれなんですかね、まずちょっと事実確認させて、
0:33:43	日本原燃の石松です。こちらにつきましてはですね、
0:33:48	冷却塔、
0:33:49	評価フローになってございますただちょっと全部は超えているわけではなくてですね、一部ちょっととか、
0:33:56	これ状況が違うと違うものでございますけれども、リジェクトにつきましてはこのようなタイプのようなプレゼンカの評価をさせていただきます。
0:34:07	これですとかイトウが足りないと思うので構築物って何ぞやっていうところから少し補足。
0:34:13	そうします。
0:34:35	いや、
0:34:40	少々お待ちください。
0:34:52	すいませんせえとご質問いただきました構築物とも牧野村も構築物という村と冷却棟のみとなつてございますので、通しませんですね点とみにちょっとだけではなくて地震応答解析のモデル等々ですね、多少ちょっと違うところもございませうけれども、
0:35:10	ちょっと期間的にはクレジットの流れで評価表のプレスの中での説明もあります。以上です。
0:35:20	規制庁カミデさんの最後の基本的にはっていうのもってよくわからなくなったんですけどをお願いしたかったのか、建物でやっている地震応答解析から、
0:35:36	耐震評価までの、今日フローでもしそれと構築物が違うのであれば、構築物としての強化、黒。
0:35:48	冷却塔はさらに
0:35:50	特別係数なんだと思いますけど、それであれば、20 ページにあるような評価フローというのを並べるなり、違うフジノ別にすけど、比較できるようにして基本ケースの差分について説明をいただき、
0:36:10	とは我々の理解も進むし、こちら整理しやすいのかなと思うんですけど、そういう対応は可能ですか。
0:36:24	関連しますとですね早急としまして、まずはちょっと比較ができるようにですね本当そうかも生徒危険はですね評価フローと、別ページでもつくってと比較できるようにさせていただきたいと思います。以上です。
0:36:38	規制庁カミデですか。
0:36:40	一番よくわからないのか、このフローが

0:36:45	基本設計方針に書かれている地震応答解析のほうに即したものでどうかって言うかわからないっていうのが私の中で一番大きいところで、そういう地震応答解析の基本方針に従った基本フローみたいなものと、
0:37:04	このフローの関係、考え方は同じだっていうことなんだと思いますと、そのあたり少し丁寧に説明をいただかないといけないかなと思ってますので、そういう対応をお願いします。
0:37:24	ミカミしましてその承知いたしました。
0:37:31	規制庁関係ですか、あとは
0:37:46	私としては手続き上は
0:37:55	25 ページ以降の話になるんですが、それまで規制庁方から、
0:38:01	確認受講バルブをお願いします。
0:38:05	はい。規制庁ハバサキです。
0:38:08	ちょっと先ほども、20 ページのフローの立てよう側について、ちょっと正確に確認したいんですけども。
0:38:18	フローの右下にある。
0:38:21	b冷却棟基礎の評価を使っておりますけども、この基礎っていうのは、
0:38:27	基礎盤のことなんば或いは支持架構の脚部、或いは支持架構のアンカーボルトの基礎の話なのか、それはどちらでしょうか。
0:38:44	日本原燃します。こちらで担当が安全に直接便乗極東基礎評価と記載させていただいているのはですねもちろんこれもですね反力を用いてご質問記載評価を実施してございます。その後、本当に
0:39:00	このように記載させていただいてございました。以上です。
0:39:04	きちゃうわけですすいませんうわもの反力を用いて基礎っていうのは、基礎版RCの基礎版の評価ですか。
0:39:12	だめ西松建設申し上げるんですがその通りでございます。
0:39:17	規制庁浜崎です。わかりましたそしたらフローの上のほうから三つ目の基礎の応答解析モデル、これを基礎版であって、すべてこのフローの中で基礎と言ってるのは、
0:39:33	RCPBでできている基礎版というふうに理解すればよろしいですか。
0:39:39	今の石松です。その通りでございます。以上です。
0:39:43	規制庁川崎です。今の点理解しました。
0:39:58	吉ハバサキで詰まっただけすみません先ほどずっと聞き漏らしちゃったんですけども、今回どう9点があると、九州側の米の間っていうのは、床ばねはないということでよろしいですね。
0:40:25	2番目としましてセットする文書通り床面はありません。以上です。

0:40:31	規制庁川崎です。はい、理解しました。
0:40:40	規制庁核定数鉄塔させるときに 15 ページなんですけど、下にモデル図と構造があつてマスキングですけど、ちょっと
0:40:55	見た目が違うということですね、
0:40:59	ある程度効率化して、解析モデルを組んで、
0:41:03	どうも、
0:41:05	どういう
0:41:07	形でモデル化はしたのかモデル化要請みたいなものを説明してください。
0:41:13	日本原燃示せ検討した 2000 年かかっているの、ちょっと
0:41:18	すいませんマスキングに触れるようなことを言ってしまった申し訳ないんですけども、ちょっとこちら一つ左の図の通り進めるとすべて同格でスパンもそこへ持っておりますので、その中にもいっぱい圏が下飛び出した解析のモデルっていうところは左側も
0:41:35	モデル性になってございます。以上です。
0:41:44	生協カミデです。日本取り出してということであれば、
0:41:52	そのあたり、
0:41:53	解析手法の中に
0:41:58	記載を加えてもらつてですね、
0:42:02	なぜその 1 本取り出すこと評価ができる。
0:42:06	いうことまでわかるように、
0:42:10	記載を、
0:42:12	していただくようお願いします。
0:42:16	日本ユニシス招致いたしました。
0:42:23	入って、
0:42:24	規制庁、川です。
0:42:27	次に 16 ページだと、今度てっ計算しになっているので、今後、解析モデルみたいなものは出てこないんですけど、これも結構
0:42:39	意見 3 の概念図みたいなのかいつていただいて、その上で、手法のところ、こういう考えで評価してますという形でちょっと記載の拡充をお願いしたいんですけど、そういったようも今後ですか。
0:42:53	日本にその施設対応可能となつてございますので、そういうことで記載の拡充させていただきたいと思います。以上です。
0:43:04	規制庁、
0:43:06	ホツカンですか。へえ。
0:43:07	あと 29 ページで、

0:43:10	29 ページを持てると構造図が並んでおりますけど、書き出して書いてある部品メーカーす違ってですね、どういうモデル化したことを考えて、これは名称を合わせるようにちょっと工夫して記載をいただきたいんですけど、お願いします。
0:43:28	日本原燃施設承知いたしました。
0:43:36	規制庁カミデですかと 34 ページなんですが、
0:43:42	この表は前後表に
0:43:46	なっていないくて、何か
0:43:49	前後表なものと同じようなものがあるような気がするんですけど、基本的には前後表で並べてもらうほうが見やすいですけど、そういった形といういただけますか。
0:44:05	管理します。このですので、その通りでもですね、わかりのみ修正させていただきたいと思います。以上です。
0:44:20	YKTと規制庁カミデです。
0:44:22	39 ページ。
0:44:28	なんですけど、投票を低影響評価結果終わって、
0:44:35	これ自重とか内圧能力は地震による発生応力に突っ込まれてるってことなんですよね。
0:44:44	関連します。その通りでございます。
0:44:49	規制庁カミデです。それであればわかるように記載をお願いします。
0:44:55	うん。
0:44:58	はい。あと
0:45:03	音波り積雪荷重は係数を掛けて、
0:45:09	少ないですっていう話なんですけど、
0:45:15	設計基準の外部事象はだとほとんど 190cmっていう話で、地震と噛み合わない
0:45:23	状態での 190cmの評価っていうのは、劣化U強度評価っていう形でやられるんですけどその辺はどういう整理になっております。
0:45:46	少々お待ちください。
0:45:51	日本語にします設備、
0:45:54	今の御質問ですけれども、家冷却と配管がですね、預金につきましてはですね、ここで御説明させていただきました通りですね、これからですねという気積雪の店頭ですね一緒かもですね、実施してございません。以上になります。
0:46:14	規制庁、川です。記載の通りっていうのは、
0:46:17	そう見ればいいんですかね。

0:46:22	日本で申しますとですね、ここに尻別のみバスですね、敷地の1-2つというところですね、30Maとページあるんですねと記載させていただいておりますけれども、今ここで
0:46:37	人させていただいている内容といいますのがマジックい蒸発面積を小さくしてくれると。
0:46:44	ペンティクトンミカミ自体に
0:46:48	積雪とかです風というのはやめるつもりにくいですよ。次に県下チラシについて考慮した際に進めるってところがあまりこれできないというところがございます、経営トップ層の評価結果ということで、先ほどご指摘ございました日本の表4の機会っていうところになってございまして、
0:47:05	ここでまあまあ地震に対して風とかです積雪のによる発生応力というところもちっちゃいですし、時というところもございまして、あと蓄圧面積を考えるとっていうところもあります通り等が安全積雪等々の考慮しないというふうなことをちょっと説明させていただいてると思ってございました。以上です。
0:47:28	規制庁神です。ちょっとその辺の
0:47:33	こんなしか理論立てて書かれていないようになったし、
0:47:39	なので、
0:47:42	わかるようにしてもらって、
0:47:45	具体的には、
0:47:51	相手ですかね、国会の
0:47:53	評価っていうのは念のためにやっています。
0:47:58	イトウ
0:47:59	なのかもしれないんですけど。
0:48:03	念のためだったら190も念のためっていう感じもするし、
0:48:08	ということで、ちょっと
0:48:12	やらないっていうのであれば、逆になっている理由っていうのをまず行った上で補足として、ちなみにみたいな感じになると、ちょっとその辺説明ぶりを工夫なり、見直すなり、
0:48:27	客系収入の影響をちゃんと確認するだけです。いずれにしてもらおうか安いしたいし、
0:48:37	このようにしましたせえってイトウ承知いたしました等の説明がちょっとわかりにくいところがあったと思いますので、そこはちょっと、ちょっと理論立ててわかりやすく時させていただきたいと思います。以上です。規制庁コサクです。
0:48:51	すみません。
0:48:53	両者、

0:48:54	よくわからないやりとりになっているんじゃないのかなと思ってわかりましたっていうのはなぜかよくわからないんですけど。
0:49:01	35 ページの最初の 4 ポツで、
0:49:07	積雪荷重、
0:49:08	風荷重に対して、
0:49:11	受圧面積が小さく影響が小さいため考慮していないと。
0:49:18	いうことを書いていて、その説明がされているということなので、
0:49:23	一応、明確にはされているのではないかと。
0:49:27	思います。
0:49:28	ですけど、この記載が結構、そもそもその自圧面積が小さく影響が小さいと。
0:49:35	いうことでいいのかどうかでその説明として母数から
0:49:41	fぼつまでということが対応している記載になっているのかと。
0:49:47	いうことについて、甚だ疑問です。
0:49:51	そのあたりをどう整理をすればいいと思っているのかを改めて説明してください。
0:50:08	日本原燃事象進展せえっと今
0:50:12	御指摘いただきました通りですね、理由等はですね 4 ポツの頭の中にですね、記載させていただいております。そしてそこからさせていただいてですね、Fとその硫酸供給とこの審査いただいているんですけども、PARの御指摘いただきました通りですね、そこまでですねちょっと
0:50:31	何点かね、結びつきというか、中の側近取ってないというかですねそこインターの
0:50:38	檀憲章ねんと記載が一連の中として見えないっていうところもありますので、教育資金がですね児童生徒のいろなてるというかですね一覧の中でできるように説明ができるような記載になっていないと私は思っておりますので、そこはそういう血の流れとして綺麗に読み取る紙の時整備公務が指定する形で修正させていただきたいと考えてございます。以上です。
0:51:00	はい、規制庁コサクです。そうしていただければと思いますけど、名どう直すのかっていうイメージがわからないので、
0:51:12	カミデと意識が合ってるのかどうかというのがわからないんですけど。
0:51:17	4 ポツのところ、
0:51:21	受圧面積が小さくまではbぼつまで重圧面積をどうするかみたいなことが書かれていて、
0:51:29	その次の積雪断面積なんかも含めてですね、話はわかるような気はするんですけど。

0:51:36	そのあとの影響が小さいためっていうのが、
0:51:40	どこにどうなってんのっていうのがわからない。
0:51:44	ような気がするんですけどそこは今、
0:51:48	十分に書けてないっていう認識しているっていうことでいいですか。
0:51:54	4名示してございます。今ご指摘いただきました件ですね、確かにそういった、
0:51:58	私としても特損秘密機能ぐらいかなと思ってございまして、ただ
0:52:04	鉄塔の基礎ボルトが小さな値は小さいと必要な要員につきましてはですね先ほどの物質的続きまして4名表4-4表ですね、ここで地震を除くとですね、風、積雪それぞれお前の登録をさせていただきますと、それを去年と比較した際に、
0:52:23	江戸地震が支配的になると風とか積雪というところが1以下警備ですと、影響は小さいですっていうところ、ここで示してございました。
0:52:32	うんそこがちょっと今同種紐付け読み取りにくい状態になってございますので、そこら辺もちょっと記載程度をもうちょっと拡充させていただこうかなと思ってございます。以上です。
0:52:43	はい、規制庁の古作です。わかりました。ちなみになんですけど、この1、第4-4表でたしかにメインとなるものじゃないことはわかりますけど。
0:52:56	有効数字的にはそれなりの費用にはなってるような気もしていて、
0:53:03	何を持って考慮しないでいい項目にするのかっていう考え方ってあるんですかね。
0:53:15	ミノシマ施設強調に対してですねご質問の件ですけれども強調に対して説明トン数%でも東翼酸素発生率となつてございますので、そういった意味ではちょっと影響が軽微であると、次のページに書いてございました。以上です。
0:53:36	規制庁コサクですけど、そういった考えは他も含めて全般通じてやってることですかね。
0:53:51	日本原燃さんはですね、今のコサクさんのご指摘は全般っていうのが分析施設だけではなくて耐震全般っていうご指摘いいですかね。
0:54:02	規制庁の古作です。共同計算も含め全般です。
0:54:13	すいません年齢サガワですこれ改めて機構の倒壊等しなきゃいけないと思いますけど考え方としてだけ少し述べさせていただきますというところでこないだの積雪っていうところに避難箇所っていうところミカミに関しましては許可の段階で積雪荷重、
0:54:30	これについては、4ページ。

0:54:33	もしできる施設を除き組み合わせるっていうところでもここ燃えた段階で基盤の中でもこれの影響っていうものを切った上で、これがフロー等が不要じゃないのかっていう観点でこの設置。
0:54:45	既設とかでっていうところでも今回やらせていただいたところになってますと、そのときに、イトウ設備の国内の設備ですね、そういうところに対してこういうような判断で除外するものがあるのかっていうところに対しては、規格基準上に向けとかでは、
0:55:00	五つ評価を実施してますので、ありませんという回答になりますので、今回この積雪と本とかで荷重っていうところは、所持ち出されるっていう観点だけで、ちょっとそこで本当に今日明日中って見た上でやったっていうのが耐震全体の考え方になってます。それからに対して強度評価とかについてはまた別途回答させていただきます。以上です。
0:55:23	規制庁の古作です。
0:55:27	先ほどサガワさん言われた許可でないというところは見込まないっていうのは、そもそも、
0:55:36	積雪に、
0:55:38	積雪しないような場所っていうのは、それは考えなくていいですよっていうような話のようにも思えて、こういう優位じゃないからみたいな話までを許可でやんなくていいっていう判断をしたとはちょっと思えない。
0:55:54	で、その辺りも含めて整理をしていただきたいと思います。ちなみに、この資料は
0:56:03	既設工認からの変更点ということなんですけど、今説明されているその積雪荷重を考えないっていうのは、既認可からの変更点ですか。
0:56:16	行目にサガワです。まず一つ目の御指摘に対しましてはまさにコサクさんおっしゃる通りで許可の書き下しをやるときにどういうときに見込まないというのを覚えと合同で議論させていただいたときも、これは設置の場所っていう観点で、例えば明らかに下部にある場合とかで、
0:56:32	上になんか物がある場合とかっていうところをいけませんっていうことは言うておりましたので、おっしゃる通りになってございます。今回の考え方につきましても、冷却塔っていうところでも、なんかに敷設されてる配管っていうところで考えてございましたので、まずはそこに適切な位置からの関係から、これは大丈夫でしょう。
0:56:52	いうジャッジをしております、その先に蒸発面積っていうところに繋がってますので、そこについてはしっかり考え方変えて、コサクさんの御指摘の通りの考え方から展開してるというところに修正しますっていうところもあります。

0:57:06	はい、二つ目の質問に対しては、日本原燃の石橋です。二つ目の御指摘につきましてははですね
0:57:14	まず、応答ミカミについての積雪低下に対する積雪の考え方については沈下ちょっと変わってございませんといいところがまず一つ回答になってございまして、こちらの資料に大変なものについても規定を記載させていただきましたのは、ちょっともうちょっとわかりやすくする必要はあるかなと思ってるんですけども、
0:57:33	咽頭別紙 1-2 でそのうちの 1 番目のですね、一番最初のほうに変更点ピンでやらせていただいております、その記載の式にかかる時蓄圧タンクからの変更点というところがあるんですが、一つ政策的な判断したのかというところがわかるように、全体のメールに。
0:57:51	と変更しないところも主盤のほうで記載させていただいてることになってございます。以上です。
0:58:02	コサクです。
0:58:05	言ってることはわかるんですけど、資料がそういうふう考えているのかって言ってわかりやすいのかというと、全くもってわかりにくくて、
0:58:16	4 ポツの書き出しがまずよくわかんないんですよその意味では、
0:58:20	位置付けが、
0:58:21	3 ポツから 4 ポツに繋がるどころとあって、何もないのでわからないっていうことだと思いますから、その点
0:58:33	位置付けは明確にした上で話をさせていただきたいと思ひますし、
0:58:39	最初サガワさんの説明からすると基本あるバーで行き場積む配管に集まらないようになっています。
0:58:47	出るということなのでっていいことですか。
0:58:53	あくまでサガワでその通りでございます。
0:58:57	規制庁、古作です。
0:58:59	だとするとじゃなんでこんなことやってんだっていうふうになりに思ってしまうので、
0:59:05	教条評価とあわせてって意味だと
0:59:11	効果火砕物
0:59:14	の荷重の考慮の仕方ということにも関係してくると思うんですね、なので、そこら辺との整合のとれるようにまとめていただかないと、また混乱するだろうというふうには思っています。

0:59:29	ルーバーの話でいうと、時使うヒアリングのときに、必ずしも閉じていうわけじゃないというような話があったような気もするので、バックグラウンドをルーバーの話も入れられるんでしょうから。
0:59:45	その運用の状況なりも含めて、評価条件として適切にどう取り扱うかということがわかるようにしていただきたいと思います。よろしくお願いします。
0:59:59	保安検査がですね。はい、了解いたしましたので修正の仕方としましてはまさに今、古作さんからご指摘ありました。グローバルから実際をつくるないんだらうけども、そこは確実に全部がつまらないって言えないというところもあったのでその話を一切書かずに結果のほうに飛ばしてきましたので、
1:00:17	その辺の流れと考え方を全部展開した上でこの資料、わかるように修正いたします。以上です。
1:00:32	規制庁上出です。当積雪荷重関係でもう1個あって
1:00:40	申請書のほうなんですけど、耐震の計算書の中に、
1:00:47	あの飛来物防護ネットの積雪荷重の強度計算書っていうのが入っていて、
1:00:53	何やってるかっていうと、防護ネットの指示学校に対して長期の積雪、
1:01:02	長期の場合は190cm、0.7掛けしてっていうことらしいんで自重と0.7×190銭市の積雪を見た強度評価が耐震側に入っているんですけど、これって、
1:01:19	どういう意図で付けてるとか低かありますか。
1:01:28	少々お待ちください。
1:01:36	なんかさっき古作さんがエムスリー
1:01:42	承認された系統竜巻なんですけれども、合併等強化するようにしてるんですけども、実際のユニットなんてするでしょうというような
1:02:00	強度評価するにあたっては、底面まあみたいなところがあってという仮定にそこまでの積雪というのは火山積もると仮定していますという評価を
1:02:15	いうことでございます。以上です。
1:02:19	規制庁上期ですか。
1:02:23	多分今申請書が手元にないと思いますので、
1:02:30	何ページっていうとあれなのかお聞きしたいんですが、応募ネットの耐震評価なったり添付1という形です。節荷重に対して強度計算書ついてますので、
1:02:42	推察するに、既工認でもしかしたらここに入れてたのかもしれないと思いつつですね今は、外部事象側で今日外部事象側強度計算書のほうに書いてあるっていうのもあるので、いずれにしても、共通シリーズの話も聞いてますからそれで。

1:03:02	計算書にどんどん経産省に何を書くんだったという整理がなされていると思いますので、その中で改めて確認したいと思いますので、とりあえず頭出しとして認識していただければと思います。
1:03:18	はい、そうですね、記載をするっていうのは表せば隣ですね、こちらの冷却というのは、そのルールに従って設定していきます。
1:03:35	規制庁込みます。あと、41 ページってさっきの配管の敷設に戻って言いますけど代表を 600 円でしたことの妥当性代表性みたいなもののもう少し会計いただいて、
1:03:54	単純に表面積が大きいからというだけではなくて状況課題は厚みも当然関係すると思いますし、そういったことを総合的に書いてください。どういう
1:04:08	最もそもそもこの資料等整理するかというところでなくなるのかもしれませんが、残す場合、そういった形で、代表性の妥当性みたいな形できちんと書くように思っていました。
1:04:22	はい根拠のある取水性にですね、今後資料の今構成的にはまず前段でバックアップ面積が小さいので評価しませんと言って、38 ページ。
1:04:36	今のつってまとめる及び結論からいきます。1 月面積が小さいので、対象にしますと言っておきながら、今度はそれでマグマちなみにという
1:04:51	話の流れの火祝わかりにくいというのが一つあると思いますので、ちょっとレイヤー修正部局としてですね。ちなみにモーメントのためは別と考えております。以上です。としまして数ちょっと今、ちょっと
1:05:10	まずですね、小林全般ですけれども、まず
1:05:15	インフラも計算とかですねご指摘いただきました通り、まず血液検査内は一旦においてですねづらいし、何がですね、完了に客解析の所管とリスク費もちょっと先ほどおっしゃいますなんで 600 件をしたのかとそういうところを踏まえてですねちょっと評価的につけていて補強対象にしたかっていうところに記載させていただいてあとはですね。
1:05:35	今日説明資料の中で実施した上ですね、下部層につきましても、こちらで判断をさせていただきます、修正させていただきたいと思ってございます以上になります。
1:05:48	規制庁カミデです。申請対象の旅行は申請対象範囲もよくわからなくて、本当にすべて上部か追われている配管だけが申請対象なのか。
1:06:02	や屋外の配管、続出してるようなものも含まれてるかっていうのがよくわからなくて、ネットにはかかっているんだと思いますけど、相談すると、今回のような話がいずれ方次回でお話を聞かなきゃいけないという
1:06:21	いえ、ちょっとその辺、

1:06:23	もう含めて考えていただければと思いますので、
1:06:28	その上で、関連して 43 ページの系統図がついてきて、
1:06:34	どうぞ。
1:06:35	すいません、これは何のためについた、何を説明するために、追設面なのかがよくわからないんですけど、まず 5 点説明しています。
1:06:48	日本に示す通り、
1:06:51	まず、ちょっとこちらは大変申し訳なくてですねちょっとについてはもう説明前にですね、この資料意見今度据付添付させて、添付してしまうと大変申し訳ございませんでしたっていうところがありまして、この添付させていただいたんですけれども、以前の者もヒアリングの中でですねVICTORIA申請範囲がやっぱり問題は何かつけていただければいいかということ。
1:07:11	駄目ご指摘ございまして、それですね、やっぱりこの物件の 1 というところで安全部局背広お客とはいだめな申請範囲についてというところで、この添付資料 3 つけさせていただいたということでございます。以上です。
1:07:27	規制庁感じですかの先生はいこう
1:07:32	なぜ明確にしなきゃいけないかっていうと、先ほど言ったように、東北外の自然荷重を工事しなきゃいけないとか、
1:07:44	あとは、相対変位が発生するようないかなとか、
1:07:50	いろんな視点があると思うんです。
1:07:55	あと波及的影響をどう申請範囲がないかと思うんですね。
1:08:00	その辺が全くこの資料見てもよくわからないので、
1:08:08	どういうふう書き込みをされていくつもりか何か考えはありますか。
1:08:28	／テンプレートに配慮しまして、
1:08:32	今御指摘いただきましてですねえと相対変位とかですねやっぱり読み取る場所でしたけれども、まずちょっとそこですねまず努力についての中におきくださいねというところにつきましてはちょっと別途、相談させた中で相談させていただきましてうちの中で適切に反映していたと意見だけいければと考えてございます。以上です。
1:08:53	規制庁カミデです。
1:08:57	ちょっとその辺をきちんと考えて図面をつけていただきたいと思います、本当にぱっと見た感じですけど、そのどの位置に設置位置ですよ。設置位置が起こらないし、あとは、
1:09:12	塗ってないものが何で塗ってないのかよくわからなくて、
1:09:17	φクラスだから塗ってないということはあるのか。
1:09:22	おそらくそうじゃないとすると。

1:09:25	次回以降次回何かということなんですけど、そのあと事務局を終わりっていう。
1:09:34	いずれにしろ何を説明しなきゃいけないかっていうのを今までのヒアリングの話とこう理解してですね、販売データ上で、
1:09:44	適切に地下研究所みたいなのかと思います。
1:09:47	よろしくお願いします。山にします。送気いたしました通り、今の御質問いただきました件についてをちゃんと資料の中に適切に反映させていただいて、ちょっとあのご指摘いただきました内容がわかるような記載をさせていただきたいと思ってございます。以上です。
1:10:03	規制庁コサクです。
1:10:06	これマスキング範囲なんで、どこまでいっていいのかよくわかんないんですけど、申請範囲の考え方っていうのは話をしても大丈夫ですか。
1:10:20	日本原燃諸説大丈夫でございます。
1:10:22	はい、規制庁コサクです。
1:10:26	前にファーム確かコアグループ1のほうのヒアリングかもしれないんですけど、申請範囲については、今日動向に
1:10:38	冷却水が入るまでAREVAから出てくるというところの
1:10:45	配管のここの基礎に繋がっているところまでと。
1:10:54	ということで減った部分なんかは申請範囲だというふうに聞いたような気がしたんですけど。
1:11:00	その辺りは、
1:11:02	現状どう整理されてるんでしょうか。
1:11:06	日本原燃メキケース、こちらの第1回申請の申請範囲につきましては当初はコサクさんがおっしゃった通りもう部分ですね、の申請範囲
1:11:19	に含まれるとして／考えていたんですけども今日つう08あと095ですね報告説明の中で改めてその申請範囲と(口)誠意系統寿都湾した結果等、
1:11:37	今回ちょっとマスキングになってますけども統制申請したそれで、添付している次の通りですね、
1:11:47	何だとかいう部分含めない。
1:11:50	形の整理、
1:11:52	結果となっていてまして、その程度それを受けまして、今回、音波のこの図のほうを添付しております。
1:12:01	以上です。
1:12:03	規制庁コサクです。わかりました。
1:12:07	前は配管の

1:12:11	使用表の書き方として、耐震の区分なりを含めて考えると言っていたのを、どちらかという配管系のイメージで取り合いの機器だったり、分岐点と。
1:12:27	いったことを主にするということから、母艦
1:12:31	これも一つの枠として考えた結果として、今回ではなくて次回以降の共同コウなり、
1:12:41	だがどうですね。
1:12:43	脳配管と合わせて申請することになっているという理解ですかね。
1:12:48	日本原燃メキケースか一発側の整理の結果を踏まえて、そのような形で現在整理をしておこうとしております。以上です。
1:12:57	はい、規制庁コサクですそちらの整理状況はわかりました。そうすると、先ほどのルーバーとの関係になるんですけど、母艦とかがあればルーバーに覆われない場所っていうのがありますよねと。
1:13:10	いうことでその部分の評価はどうなるんですかっていうことを聞かなきゃいけないっていうことなんですけど。
1:13:16	今回のその整理で言うと、
1:13:20	位置関係としては全部冷却塔のルーバーの下っていうことなのか、或いはやはり
1:13:28	むき出しの部分っていうのがあるっていうことなのか、そこはどんな感じですか。
1:13:47	規制庁コサクです。回答が非開示情報に当たるようなことであれば、場合によっては次回以降の申請範囲であっても、今回その全体としての方針を示しますっていうところで両側説明いただいても構わないんですけど。
1:14:03	いえる入りいただければと思います。
1:14:07	日本原燃メキケース、それはちょっと言葉を選び流れなのでうまく伝えるかが申し訳ないんですけども、ちやい土木案に関しましては、
1:14:21	御説明本当設置場所としまして、英語のこれまで先ほどまで説明していました通りチェックの英語
1:14:35	多彩最下層といえいいんですが一番低い人に近いところに揖保間布設されてますと、そこから2にあります伝熱管に向かって配管が走っていくような構造になってますので、
1:14:52	リミットいっぱいですと分間等に関しましては積雪
1:14:58	シミック一般の場所
1:15:00	また、原子炉のような場所に配管自体はどう布設されてます。以上です。
1:15:09	はい、規制庁コサクですかの状況はわかりました。
1:15:13	そういったところもなるべくわかるようにして

1:15:18	先ほど言っていたような先へ記載の拡充というのを図っていただければと思います。やはり図面だけでは、その辺り表現できないので、図面は図面としてあった上で、それぞれの中でその範囲での考え方っていうのを整理すると。
1:15:35	ということだと思いますので、荷重の話は荷重の話ですし、先ほどなり何なり、
1:15:42	というようなことがあるのであれば、そういう評価項目の中で、その指定を
1:15:47	まとめていただくということだと思います。よろしくお願いします。
1:15:53	三島先生。承知いたしました。
1:16:00	規制庁カミデです。
1:16:04	43 ページ、12 の移動の時に、
1:16:09	終わったと、もっともっと等はもうちょっと広く三つ先ほどっていう話だと定ピッチスパン表をとか、あとこの資料でもそうですけど。
1:16:21	影響があるやに思うんですけどそのあたりはあれですかね、共通の
1:16:33	支給したつけ。
1:16:35	申請範囲のところ、
1:16:38	で話をするんですかね具体的には申請書なり、これまでの補足説明資料に対してどういう影響があるかって言うのがどれぐらいあるのかなっていうところなんですけど、その辺何か頑張ってます。
1:16:54	日本原燃のメキです。
1:16:57	そういう意味ストレート申請書につきましてはPPB
1:17:01	Dスパン表を出してまして、今回対象となる
1:17:06	値する失礼しました。今回投資対象外となった箇所についての扱いについてまずちょっと社内で一応整理をさせていただいているそのまま掲載するの次回改めて申請
1:17:23	どうするのかにつきまして、ちょっと相談させて社内でまず一度整理させていただきたいと思います。あと、使用表の法令等の配管の名称という形で都道からどこまでというところを示していました。
1:17:40	これにつきましても今回の整理結果を受けますと、ネット変更になるかと思えます。補足説明等々で
1:17:50	新生児の名称を記載しておりましたので、その辺につきましても同様に修正が必要になってくるのではないかなというな考えております。以上です。
1:18:06	規制庁カミデです。
1:18:08	今の整理だと、冷却塔の支持間隔表冷却塔Bの支持間隔表というものが、
1:18:16	今までは一応パッケージもので出てきたけど、

1:18:22	今の考え方とそれすら分割になるっていうことなんですかねkAとこの系は分割ですっていう形になるんです。それで本当に申請範囲として、一つの固まりとして適切だと思う。
1:18:37	できるっていうのであれば、どういう考えなのか教えていただきたいんですけど。
1:18:51	日本、日本原燃の土岐です。
1:18:54	先生とそこの耐震評価と網を申請範囲っていうところにつきましては、
1:19:03	現状こういった形で市政範囲整理はしているんですけども改めてすいませんそこにつきましては整理を確認させていただきたいと思います。以上です。
1:19:17	規制庁関係です。その辺を説明する資料系具体的にナンバーの資料でしたっけ。
1:19:33	日本メキ所則お待ちください。
1:19:52	日本原燃のケースすいませんこちらにつきましてもいま一度確認させて回答させていただきたいと思います。
1:20:03	規制庁とつかミデで兆候ベースのすみません、とめの. 09 ですか。規制庁コサクです。今の点は共通 09 別紙で
1:20:16	一連の設備を抽出するといった作業の後、共通 05 で分割について整理をするということになってそのアウトプットが 00 シリーズの
1:20:31	別紙 2 の中に反映されると。
1:20:35	いうことで戻ってくる形になっていると理解をしています。
1:20:40	別紙 2 の中では、
1:20:44	結果として書いてあるだけなので、その考えはっていうのはわからないですし、また配管についても意識っていう形になっちゃっているので、明確にはならないと。
1:20:57	いうところですか。学んで、現状の資料構成で言うと共通 05 で議論をするということになるかとは思いますが、
1:21:08	もうちょっと具体的に議論ができるようにしたほうがいいんじゃないのかなっていう気もしているので、共通 05 の話をするときに影響する 09 ページを踏まえたところでどう
1:21:23	具体的に線引ができるのか問題はないのか。
1:21:26	言ったようなことがまとめられるように対応をお願いしたいと思っています。
1:21:31	ここまで果たして 1、
1:21:33	したところでの質問で申し訳ないんですけど、そういった辺りについて影響ある議論ができるイシハラさんなどは表いらっしゃるんでしょうか。
1:21:45	はい。
1:21:47	1 点目の治療するために用い参加させてもらってます。

1:21:52	規制庁補佐ベースでもありましたJALさん、今の点对応して
1:21:58	タカハシ 3Maイシハラさんと相談をしましてまとめております。
1:22:05	承知しましてありがとうございます。
1:22:14	規制庁、古作です。カミデさんどうぞ。
1:22:20	規制庁の上出です。補足ありがとうございます。耐震記念 13 時箇所私の確認は以上です。
1:22:30	規制庁浜崎です。私の方がまたちょっと何点か。
1:22:35	先ほど 1 ページに戻ってしまうんですけども、
1:22:38	地震応答解析モデルこれマスキングですけども、今回のモデルでこれ
1:22:45	ポイントの比較という観点では既工認では、こちらモデル。
1:22:53	授業とかもやっていたという理解でよろしいですか。
1:23:01	さっきのイシバシです。その通りでございます。以上です。そのときの解析手法、先ほど、
1:23:10	今三次元のフレームわかりますでの時刻歴応答解析っていう話だったんですが、
1:23:17	既工認との解析方法の違いっていうのは、今この資料の中に内容なんですが、
1:23:25	そういった比較っていうのは必要ないんでしょうか。
1:23:39	日本原燃諸施設へ当部辛いと先ほど日比さんでしたか見え等から御質問をいただいていたんですけども、ちょっとそこも、まずは時設工認に飛べ設工認というところで借できる箇所もありますので、そっちの比較。
1:23:56	できるように投資帳票等々ですね修正させていただきますと、修正させていただきます以上です。
1:24:03	規制庁浜崎です。で、御聞きした件なんですけれども、既工認述べる。
1:24:10	もうちょっと今手元がないんですけども、
1:24:13	今回の工認のこの三次元のモデルでは地盤場でっていうのをどういうふうに考えられてるんでしょうか。
1:24:29	愛媛もなかった。
1:24:34	すいません日本原電さんはですね、これちょっと先ほどの最初のほうに自分の方からお話したんですけども、ハバサキさんご指摘の地盤ばねっていうのは、建物側の評価になってまして、来電話の評価っていうものは先ほど少し自分の方から話をしました。
1:24:52	100 人を一定にするのか指示にするのかっていうところへ解析モデルを

1:24:58	作りますと、そこに対して江田島市でつないでそこに地震力を記録するというやり方なので、御指摘のナカガワな場面っていうところに対しては設定していないということになります。例えばに関しては、スポーツ、はい。
1:25:12	規制庁ハバサキです。決めるのは、基礎版の地震応答解析、応力解析をするための応答解析モデルでは地盤ばねがついてるんですけども、今回つけてますよね。
1:25:27	このフレーム側のほうでは、それはついてないという
1:25:32	そういうモデル化なんでしょうか。
1:25:36	日本原燃の石松先生、その通りでございます。
1:25:41	規制庁ハバサキです。FRSでの評価のときに、地盤ばねの部分っていうのは、やはり影響があると思うんですけども、そこら辺は何か検討はされているんですか。
1:25:57	規制庁でございますが、そのS/Gの起動によって火災上操作性ちょっと昨日ちょっと頭の整理が必要だと思うんですけど、建物を評価するときに、横の地盤ばねを考えると、
1:26:14	というようなことの対応で言うと20ページの資料を見ると、基礎版がその建物に対応していると思われていて、それに乗っかる冷却塔については、機器扱いであって、
1:26:30	FRSを踏まえた評価にすると。
1:26:34	というような形になっているような気がするんですけど、まず
1:26:41	建物と建物内の機器という評価の体系と、この冷却塔がどういう関係にあるのかとそれを踏まえてどう設定するのかっていうことで説明いただいたらいいかなと思います。おそらくあの高さもそのつもりでなのでサガワ図が出てきたのかなという気がするんですけど、すいません。よろしくお願いします。
1:27:02	はい、検査すいませんコサクさんに補足させてもらったりしていただいたんですけども、今の御客さん御指摘の通りで、例えばね側面と機能の側面っていうところがあって、この赤枠の中より手前っていうところは建物の側面になってきますので、そこをしっかりと書いてあげて、
1:27:22	起電の削減というところで、この赤いところはしっかりと流れ書いてあげて、だからこういうことで、までは設定するんですけどしないんですけどっていうところがわかるように体験を修正したいなと考えてございます。以上です。
1:27:36	主なわけです。
1:27:38	内容は理解してましたんですねちょっとそこら辺の中身がわかるようにですねこの資料の拡充といいますか、
1:27:49	技術の方ですね、お願いしたいと思います。

1:27:52	よろしいでしょうか。
1:27:54	日本原燃につきまして承知いたしました。
1:27:57	規制庁の古作です。ついでで申し訳ないんだけど、一番最初にカミデの方からこの 20 ページのフローについては、時悪だとか、指定のものかどうかという関係にあるのかというようなことも含めてわかるようにしてくれという話があったと思うんですけど。
1:28:15	その話するのは今のに繋がってきて、建物としての枠とそれに乗っかる設備の話とということであわせての対応で対応できるっていうことでいいですかね。
1:28:31	はい、今までサガワです。その通りで考えてございまして規格基準であったり県の方針だったり左側に置いてあげて、その比較っていう形でさらに言いますと、屋内の設備だと思ってるってところまでを仮定下す必要があるなということ考えていたということでした。以上です。
1:28:50	はい、規制庁策定するわかりました対応よろしくをお願いします。
1:28:54	時ちゃうわけです。私の課長最後なんですけれども、先ほどカミデの方からもあったんですけども、以降ですね評価手法だとか、解析モデル前回の資料、
1:29:07	レベル 0 に関しては、前概要という形になってたんですが、今回は現状しか書けないので、前後表できるだけ
1:29:17	の形で来てくださいということで、もう 1 点、前回のレベルではですね、床応答スペクトルの算出方法ということで、全中 25 ページなんですけども。
1:29:32	回数を電子っての時刻歴を抽出してそこから最大応答加速度を算出してっていうような説明がありますが、今回その説明が抜けてるんですけども、
1:29:46	これを何か抜いた理由っていうのはあるんでしょうか。
1:29:50	日本の施設系統そこは
1:29:53	当院にぱっと見ると、こちらはなくてですねエンターそこはですね、資料のですね。すいません。とですね、地震が起因し、これ生徒さん別にのところでですねちょっとまとめて記載させていただきたいと思ってございました。
1:30:11	どこかですねどういうふうな事象と解析等も登録解析っていうところはどういう意図で記載させていただけるかと
1:30:19	委員の一つ書かせていただいております、ちょっと今の記載があるというふうに思いますので、今の御指摘の件も踏まえてですねちょっともうちょっと確認させていただきたいと思います。以上です。
1:30:30	規制庁川崎です。今もちょっと理解しました。フローの形で説明のあったんですね、そちらのほうがわかりやすいんで、ちょっと説明のできる充実化といえますか、そういう観点で主要見直しのほうをお願いします。
1:30:44	私のほうからいきます。

1:30:50	それでは他に事実確認があればお願いします。
1:31:00	すいません先ほども調査のサーバーさんの話の中でちょっと一つ気になったところがあるので 38 ページのところなんですけども。
1:31:17	2-38 ページの 4-4 表のやつで、さっきサガワさんが何か協力に対して積雪荷重というのが割合的に小さいからこれは無視できるんだという話があったと思うんですけど。
1:31:32	これって主荷重になるやつっていうのが地震に発生する応力でそれと積雪荷重で比べると大体 1.5 割から 2 割ぐらいのあれ割合があって、実施地震応力に対しては積雪荷重で無視できないと思って。
1:31:50	出るんですけど、まだその荷重の組み合わせで、地震端子過剰である地震等組み合わせを考えるべき荷重というのは関係がどうで、それが全体として組み合わせ荷重として許容力に対してどうだから、結果として、その節は風荷重っていうのは、
1:32:07	考慮しなくてもいいですねっていうその話の関係の結局パブリック強度詰めと考えているんだっていうところのその全体像がちょっとわからなくなっちゃったので、ここをご理解説明いただきたいんですけど。
1:32:23	はい、西村です。まず入れてください。そこ回答したら自分じゃなくて、イシバシですとか悪いのペーパー配当しますというところで、
1:32:32	今の指摘っていうところで地震荷重とカミデさんからもありましたけど技術の関係っていうところがありますけれどもところなんですけども、その関係性を示す前にコサクさんとかこれまでにぐらいろいろ今起きている中で、まず応力が小さい大きいとかの話じゃないということで自分は理解してますというところでは。
1:32:52	構造上等はどうなんだっていうところで許可で書いた話っていうところで明らかにその積雪しないのであればっていうところを切り口直していきまして、それで、次に 10 月面積っていう見解になっていて、最終的にこの物件のどう考えるのかっていうところの
1:33:09	何か聞くだけになりますと、その時の最後の皆さんの質問である地震の発生応力っていうところ今書かせていただいているんですけどもその中には地震ぐらっていう政府も出てくるので。それら分解した上でどう考えるからいいんだっていうところの最後の考察のところ、
1:33:26	まず構造で最終的にちなみになるのかわからないですけどもそういう場合は修正したいということで考えているというところになってございます。以上です。

1:33:36	すいません軽重モリノです。やっぱりなかったことが見込める規制庁コサクですけど、整理した後じゃないとわからないと思って整理をしてくださいということだと思います。基本が、
1:33:52	積雪にならない位置にあるので。見込まないっていうのが設工認上の所の評価ですと、一方で、ルーバー上げてるときが運転する時アルバム基本的に開けているので、もし
1:34:07	入ってきたらということもやってみますと、
1:34:10	やってみてもこの程度でしたというだけの話なんじゃないかなと思って。
1:34:17	これまでの説明は聞いてました。それはその通りに変えて読めるようになるのかどうかってのはまだ出てきてから見ればいいのかかなと思ってますけど、そういう理解ですかね。
1:34:29	丁寧さがですね、コサクさんの御指摘の通りで、資料の構成としては泳ぐ云々ではなくてそのような構成構造上の観点から展開していくってところで考えてございましたかさいねとなっております。
1:34:45	規制庁ものです。わかりました。ありがとうございます。
1:34:50	それでは、他になければ、この資料ですね、起電 13 の修正の方針等生徒修正のスケジュールの説明をお願いします。
1:35:03	はい、協力のほどですね塗装も実は沢山コメントいただきまして、また修正方針としましては、期間があるかなと考えてます一つが逆止ダムから水準に限らずですね、質点に説明するという点。
1:35:21	それからもう一つの評価例のところですね、こちらもたつぷりある退避してちょっとわかりやすくしないとちょっとみたいなのつかないというところがありましたのでトレス力整理するという点。
1:35:36	それからあとはいかにも積雪のところですね、こちらも、この結果に整理が必要だという点ですね。
1:35:45	三番目に系統審査会もですね、こちらが目的があって、それに合致する説明がないと。
1:35:55	いただければ、どっちかってわからないというところがありましたので、ちょっとそこを書き下していくという修正いたします。以上です。
1:36:07	規制庁がいいのですねと修正の範囲は大体だけそんなもんかなと思うんですけど、修正のスケジュールとか、どういう保守でやってくるのかっていうのをお聞かせいただきたいんですけど。
1:36:36	規制庁も今まで説明してよろしいですか。
1:36:40	3.2 と通常ラインでございますけれども、トライ因子の
1:36:48	協議し、

1:36:51	24 に、
1:36:55	すみません、検討を十分検出部って書いておりますので、規制庁モリノです。24 ですね。はい、わかりました。あと斎藤今話にあがってなかったんですけども手計算の部分。
1:37:09	の具体化とかそういう範囲の判定として決まったかと思うんですけど、そういうところもちゃんと漏れなくキャッチアップされてるかっていうのをもう 1 回確認させていただきたいんですけど。
1:37:26	何ページだっけ。
1:37:29	二相ですと自分で聞いてまして、本当に一覧表ついてるところで、当設備のところもちゃんと見なさいよっていうところで例えばモデル図であったりとかっていうところの指摘は理解してますので、その辺の規制をするというところで、
1:37:45	今考えております。以上です。
1:37:51	そういう感じでしたっけ。
1:37:57	はい。
1:37:58	規制庁モリノです。
1:38:01	すみませんちょっと今ぱっとその関係がわかんないんですけどさっきあったの応力の算出式とかのその他の具体化というのがそれにサガワさんのおっしゃっていただいたところに該当するっていうそういうことでよろしいでしたっけ。
1:38:18	すみません 4 年サガワです。24 ページ分を上を 26 ページ以降ですここは
1:38:29	電動機と減速機っていうところで、この算出式とかモデルってところが、これからちょっと書き方が今言われた変わらないので、この辺は直していくって
1:38:40	考えておりました。以上です。
1:38:43	規制庁のやつはわかりました。
1:38:46	はい、それでは、さっきの 24 日、20 日のリスクということで理解しました。
1:38:53	この時間、11 時半ぐらいになったんですけど、残りの資料で期限が 14 とか、
1:39:01	で、残り 30 分ぐらいで終わるもんなんですか。入れ等、
1:39:05	今日のヒアリングメニューどこまでありますかという相談なんですけど。
1:39:12	今のサガワです。前常用までというのが求め加算関わるところになってございまして、ほんででそれなりのPMは我々の
1:39:25	キシノになってございますのでこれを次回でもいいのかなというところで、給与まではちょっとやりたいなということで考えておりました。以上です。
1:39:37	それでは、時で 14 の設定とも補足の説明があればお願いします。

1:39:46	メディカルシステムネットワーク、太田式の順番ですね、日立地になります政令と8月3日提出資料です。こちらミカミをコミットすることですが、二つほどちょっとこちらから伝えたいことがあります。
1:40:03	1次がですね、まず、この資料、まず位置付けが当初検討チームですね、3ポツの二つ目のパラグラフに書いてある通り、
1:40:16	本資料でばちつとに定められた自主の今のそれに該当しない支店代弁について補足するものですよと。お断りしておりますでしょうか言う形ですね。
1:40:32	県ベンチがありますけれども、
1:40:35	注見通しになっちゃってそれを私は何とも議論検討フローですよと示してございますけれども、
1:40:48	資料では、
1:40:51	アイフルについてはですけども、緑色については、この資料上は使えませんということをお知らせしておきます、ちょっと改めてこれは使うかというところ名申請書っていう扱うべきなんですけど、申請書に書いていないのですね。
1:41:09	そこについては整備のときのタニグチできちんとジャックにおけます飛び抜けて帰っていくということで考えております。それが1点です。
1:41:25	ちょっとマスキング
1:41:27	稲場地区と言っていたところの紹介もあります6.1ポイントですね中国ページの
1:41:35	第4図、
1:41:37	こちらバーの一般的なための軸流式ファン
1:41:41	示しているんですが、前回のこちらのまず議論いただいたコメントをいただいておりますが、今回もマスキングしてしまいましたすいませんちょっと上回るいたします。
1:41:55	説明は以上です。
1:41:58	規制庁モリノですねと、16ページの技マッピングなくなったものがまた提示されるってということでよろしいですよ。
1:42:07	はい、それではですね、修正して再度出席いたします。
1:42:12	はい、わかりました。それでは規制庁側から事実確認お願いします。
1:42:21	規制庁カミデです。
1:42:23	今年量はそんなにないですか。1点まず確認したいのが確認というか、ちょっと整理を行ったらいんですけど、
1:42:36	再処理施設における同定機器っていうのをどういうふう考えてるかという説明をいただきたいんですけど、基本的にうち役に記載されているものっていうことなんですかね。

1:42:58	はい。
1:42:59	はい。
1:43:00	イトウ日本ユニスペースで当期のご質問におきますけれども、株主さんの御指摘の通りとなっております。その中で、この資料の位置付けとしましてね、その自覚の北の駅の中の中から外れるものについては、こういう方針でいいよと。
1:43:17	添付していきますといった中身を説明させていただいているということになってございます。以上です。
1:43:25	規制庁カミデです。
1:43:28	その辺まず全体の対象が何かについて、
1:43:35	書き下してるページってあるんですかね、ページぐらいですか。
1:43:40	日本原燃の示してございます。そこにつきましてははですね本来ちょっと目次のところにもですね記載さ本当かと思うんですけども、まず、この
1:43:53	そうですね決定するところで抽出された結果を記載させて記載していただいでご相談記載させていただいてございます。以上です。
1:44:03	規制庁、三井です。列島 45 ページの 4 ポツ 1 の最後の監査結果のところなんだっていう落ち込み、
1:44:15	すいません日販連スケカワです。先ほどの説明なんですけども一応算定理念の下位行のところ、まず等、動的機器っていうところの懸念を示させていただいておまして、それと再処理施設におきましては俺と動的関係するものについて、
1:44:30	では、とポンプですとかベントでございますので、これにつきましては
1:44:35	じゃあの中でも、それらを含めまして動的っていうふうな定義をさせていただいておりますので、というような時仕組みを示した上で動的答え展開を決めさせていただくという、これは作成をしておりました。以上です。
1:44:52	規制庁カミデですちょっと気になったのはその差益処理は実用炉にないような機能を持った機器を例えばスチームジェットポンプと
1:45:05	その継電運とかっていうのがステップに行ったりするパッケージですか、そういうのっていうのは、動的機能とは言わないっていうことなんですかね、よく確認したいんです。
1:45:24	少々お待ちください。
1:46:07	規制庁カミデですすいません私の発言こう言ってました。
1:46:14	博物館ということをきちんとできてたという御質問されたと認識してます。
1:46:34	右上にサガワですねその動的機能に対象か対象やないかっていうところで、今回載せているところにつきましては転換同率ときですね

1:46:46	弁のときには議論させていただいたときに、本当の中で申請するんだっていうところでしょう表示によって比べについて申請しますっていうところと、あと事業者が管理するっていうところの機能維持っていうところの関連があって話をしておりましたっていうところになってます。
1:47:04	やはり今回のこの範囲の中で書かせていただいているのが本当商標対象っていうところで確認しているところについて書かせていただいております。税カミデさんからご指摘ありましたシルエットっていうところについてはちょっと確認をもう一度確認させていただきますというところですよ。よろしくお願いします。
1:47:26	規制庁カミデですか。KEMジェットもそうですし、あと、
1:47:31	スチームジェットが違うと言うとその大元のコンプレッサを回す。
1:47:36	一緒に入ってるんですかね。
1:47:39	要は、弁等って拡大ちゃってるんで、見えなくて、ちょっと不安感が額
1:47:46	ちょっと説明いただけます。
1:47:56	少々お待ちください。
1:48:12	日販連スケカワです。今の御質問に対しましても、当検討する必要あります設工認膝から上に3ヶ月で先ほどの事業者管理っていうところの機能維持等申請対象の機能維持という観点と、地震時自身のっていう観点といろいろ
1:48:29	入ってきますのでその辺りをすべて整理した上で回答いたします。以上です。
1:48:35	規制庁、上出です。
1:48:38	この入口の説明がやっぱり再処理施設においては必要なかなとも言いましたので、その点もこの資料で、
1:48:49	説明すること等において、
1:48:52	そういう、来ていただいてそうすると今度7ページ。
1:48:56	で示してるものページ1から5/ほんとにテキストつつうのは、
1:49:02	いうこともわかるかと思しますので、その動的機器っていうのはどう定義つけるかっていうところも含めてですね、基本的にはその点で作動電磁弁とかはP体を信号を受けて、
1:49:19	能動的に動作するものっていうの確認なのかもしれないですけど再処理施設においてはそれをどう考えるのか、地震後に機能を果たすものについて、とういうものを対象とするのかっていうことを
1:49:36	整理いただいて、ちょっと説明いただきたいんで、ちょっと検討お願いします。
1:49:46	日本原燃スケカワです。了解いたしました。
1:49:52	はい、決得規制庁長官ケース、あともう1点だけと18ページに、
1:50:01	要因分析数が減っていった、
1:50:06	これをどう作成したのかっていう説明を加えていただけたらいいです。

1:50:12	基本的には、類似の
1:50:16	実用炉の実績のものを、多分、
1:50:20	引っ張り出してジャストさせたような気はするんですけどちょっとその辺りの過程を、資料に記載いただきたいんですけど、今の段階で凹凸説明いただけますか。
1:50:34	右上に示してございます。主な指摘をいただきました件中 400 ページをちょっとご覧いただきたいなと思ってございまして、この中でまず今こちらにですねゆ着等もちょうとジャパンに対する地震及び分析を踏まえてっていうところが
1:50:51	ですねその中で耐特委機種／型式に対する評価
1:50:56	踏まえた緊急行くと、やっぱりまず大局的っていうところを参考にさせていただいてございますと根井層開拓自前で言ったように、キッチン分析表が 20 ページに記載させていただいてございます。この 20 ページに記載させていただいてます。という理解される皆さんずっと職員は、
1:51:16	地震免責っていうところは、この中でですね産科医療客とファンに対するですね要因分析表 5、作成させていただきましたというふうに思います。説明が 17 ページでございます。以上です。
1:51:31	規制庁カミデです。そうすると 17 ページの
1:51:41	17 ページのフローのアウトプットかっちゅう、8 ページ。へえ。
1:51:48	インプットの一部は、
1:51:53	20 ページっていうことなんですかね。
1:51:58	今年の 4 月です。その通りでございます。類、確かにですねインプットに使用したものとアウトプットっていうところがですね、お客提出してしまってるっていうのは、このキシノは思っておりますので、あそこの中身につきましてはですね適正なプロの流れとなるようにですねと修正させていただきます。以上です。
1:52:18	規制庁カミデですか 4 ポツのところを外力、
1:52:22	の流れを
1:52:25	文章でももう少し説明した上で、Pressure資料の構成としてもやっぱり先に結果が出てきているっていうことは片方だけそのあとに出てくるっていうのもおかしいので待っ普通に考えれば、別途二つあるのであれば、二つ目。
1:52:42	どうもあってそのあとに高卒がわり最終的に行ってきた方っていう形で、
1:52:50	記載いただくほうが構成としてはふさわしいかと思しますのでちょっとその辺り検討して出席ください。
1:52:58	女島施設今ご指摘いただきますと健聴のこちらの方で検討させていただいて適切に庄内反映させていただきたいと思ってございます以上です。
1:53:09	規制庁カミデです。それで、要因分析について、片方はタイト 5eの話として、

1:53:21	安全だとは思いますが冷却等も
1:53:24	その分析室っていうのはこれは以前から何かに使われてたのか、今回改めてっていう言葉っていうのは、その辺はどういう位置付けどういう経緯があるものですね。
1:53:42	真ん中に示してございます。今ご指摘いただきました件ですけれども、3種類の要因分析の考え方というところはですね、既設委員長からから変化ございませんと。ただし部として運転管理で検討表はもうこれで評価してございますっていうような資料がですねと今回初出しさせていただきましたので、
1:54:01	はい、以上になります。
1:54:04	はい。規制庁カミデです。
1:54:08	基本的には、
1:54:09	18ページにあるものばこれは網羅的にちゃんと考えられてるものかっていうのをちゃんと説明してくださいということで、そういう意味だとインプット情報の人乙A、
1:54:22	耐特委の話をちゃんと説明はあるけど、もう片方のインプット項目については、あんまり説明がないと。
1:54:30	その辺り県域記載する構成にいただきしていただければ、18ページの妥当性が説明できるのかと思いますので
1:54:41	このまま見直しの対応。
1:54:44	お願いします。
1:54:52	ここに示してございます。かみさん大変申し訳ございません。ちょっとこれは一つの物件でやると言われていた時にはですねちょっと電波の状況がちょっと聞き取れませんでしたので、ちょっと教えていただきたいんですけどもよろしいでしょうか。
1:55:08	はい。規制庁カミデです。17ページのフローっていうと、対極故意のほうはインプットとして説明があってもう片方インプットがありますよね。これについての説明が今現状を資料中にきちんとないような幾何
1:55:27	そうしますので、
1:55:29	対応してるんであれば、
1:55:32	もしかすると23ページ辺りがそうなのかもしれないんですけど、その辺り構成を整理すると、二つのインプットからこういう検討してこのアウトプットが出てきたんだというのがわかりやすくなると思うんで。
1:55:48	そういった観点で体裁含めて整理をしてくださいということです。
1:55:54	凡例に示してございます。今メリットと言われていたところはですね大変申し訳ないんですけどちょっとインプットによるからですねやっぱりまず運転これ資料

	の中に沿って作ったものでして、まずはそのこん中に記載されてフレーズのため、
1:56:11	打ちますとですねまず佐賀支社の
1:56:14	ていうと、
1:56:16	適用者とかですね範囲とか実施アマンですかねもですかって言っちゃいますからですね、あとはハットリ局ともファンの実施評定項目の抽出ってところで、93 ページの処理ですね、2-1 図ですね、この中で御説明させていただきますと、まずは専門とするものですからそういうものですか。
1:56:36	まずっていうところが一番最初の 17 ページの一番最初のフロー図の 1 番目とんですけどもございますけれども、まず弱が適用できるかできないかというところがまずございますと、その中で、今回緊急今とまっておりますので、それで投票目標とか検討と、一番右のですね。
1:56:54	表のところですね評価長期運転してもらうだけのアメリカってところで、まずここマルになってございますので、評価項目の抽出と、
1:57:02	していきますと、その中身として五つの評価パラメータなんですかということで、まず今回耐特委っていうところはですね顧客との関係とこのルール評価項目ありましたってところがですね、特にネットみたいなものがありましたので、そちらをちょっと参考にさせていただいて地震及び分析させていただいたと。
1:57:18	ていうナカガワプロジェクトでございますのでもうちょっとそれが的確にですね、わかるような経験をプレゼンスの記載にさせていただきたいと思っております。以上です。
1:57:31	規制庁カミデです。
1:57:34	今の説明からするとフロー図がちょっと違うのかなっていうことをみたいなので、クローズの流れと、
1:57:44	合わせて、
1:57:45	資料をクローズも修正し市場の補正も整理することだと思いましたので、対応をお願いします。
1:57:56	固有名詞まず塩化恐れずに関連 313 の物質的いただきました通りだとちょっと耐特委のですね検討ってところがですねちょっと一番悪いと思っておりますので、こちら参考にしましたよっていうところがわかるような記載程度に修正させていただきます。以上です。
1:58:14	規制庁コサクです。ちょっと。
1:58:16	話の中で追いつかないんですけど。

1:58:19	今その耐特委の話Cをしてるときに、17 ページのフローではなくて 12 ページの
1:58:28	フローの説明を受けるお話しされたような気がするんですけど。
1:58:33	17 ページのフローっていうのはちょっとマスキング対象になって、なんかよくわかんないんですけど、これはあ。
1:58:42	あれですから、このフローは意味がないということになるんですかね。
1:58:53	日本原燃の石橋です。異議がないというところではなくてですね員と 2 ページの瓶が考え方場所ですてございまして、17 ページは、冷却塔ポンプの消火文献等を行う。
1:59:08	行っていくとこの抽出して耐震計算を実施するまでのフローとなっておりますので、
1:59:15	させていただきますのでちょっとスプレイフナバ二つ 12 ページ、17 ページありますけれども、こちらちょっと別々の意味だったかしらの黒字になってございます。以上です。規制庁コサクです。そうだと思ってたんですけど、17 ページのフローの中での構成部分について、
1:59:31	この 18 ページ以降で説明されてることの関係がカミデからよくわからないのでちゃんと整理をしてくださいという指摘だったはずなのに、説明 22 ページのフローがされていて、整理しますって言われたんで、17 ページのフローとの関係がなんだろうと。
1:59:48	逆にわからなくなったというのが私の質問。
1:59:52	です。
1:59:53	その点でユーロ戻って 17 のフローを再整理をするということに繋がってくるような気がするんですけど、その際に、図のベースが全部マスキング対象になっちゃっているんで、非常に話ができないんですけど、この内容にマスキング
2:00:10	かかる部分がほとんどないような気がしていて、
2:00:14	ちょっとその点も含めて整理をしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
2:00:20	2 点目のイシバシです。そうですね団地のページのフロー図につきましては、まずはちょっと考え方をちょっとマスキングかかっていることありまして 12 ページをちょっと格差のお話の代表として使っ生体たんですけれどもそこもちょっと整理ができるようにですねまず。
2:00:35	17 ページの考え方これ別々なんですといった家というようなですね、ちゃんと
2:00:41	実強度の作成をさせていただきますとともにですね、ちょっとマスキングここまでマスキングの方にするものであればちょっと相談させていただいて検討させてい

	ただいているものであれば外すというものと修正をさせていただきたいと考えてございます。以上です。
2:00:59	はい、規制庁コサクです。よろしくお願いします。というのは、どういうサポートなり考え方で進めるかっていう一般論はマスキング対象かかわらずにかけて、その内数として、具体的にどういう評価項目の評価内容があるのだったところ、
2:01:17	マスキングだったことだと思いますのでその点で 18 ページはそういう形で適切になっていて、
2:01:25	高圧の話は文章でマスキング対象なっしー内容が書かれている図の中はマスキングにしていると。
2:01:33	ということなので、発想が 17 ページにないと。
2:01:37	ということなのが分解したと思いますので、
2:01:41	それで、次のページ、マスキング対象外の中で書くときに、
2:01:48	18 ページと 20 ページでポツbぽつって書いてあることの関係性だったり、その後の 23 ページにcポツで書いてることとの関係性と、
2:02:02	ということも見える範囲で書いていただくということが大事かってのがあったというふうに思います。
2:02:12	ミカミましてそれでご指摘の県下の理解いたしましたので、そのように修正させていただきますと考えてございます。以上です。すいません。
2:02:20	本件、
2:02:22	はい。
2:02:31	規制庁浜崎です。ちょっと私の方からもですね。
2:02:36	15 ページで、これもマスキングなんで具体的な中身についての話ができないんですけども、上から二つ目或いは三つ目のパラグラフのところ、
2:02:50	一体的に与える、或いはとか同等ってところでそういう趣旨の表現があると思うんですけども、具体的に何がどうして一体或いはどうして同等で扱われているのか。
2:03:06	そういったもう少し必要人数聞かないですね、何か根拠について説明をしてもらわないと
2:03:18	ちょっとこれ理解が難しいんですけども、
2:03:22	もう少し詳細な説明っていうのはこれ可能でしょうか。
2:03:27	日本原燃します。今御説明向こうからの御指摘いただきました件ですけれども、途中 6 ページを見て
2:03:37	記載させていただいてございますのでちょっと言葉はちょっと今の御説明ですね事務。

2:03:43	タイトルといいますかということがちょっと書き方が不足していかなと思うんですけれども、一番下の第 2.4 図っていうところがですねこちらはもともと時ジャストポイントですね記載されているかの口座になってございまして、今回それに年産ずっと言われてみたらどうかですね除却等ですね、安全冷却水系冷却塔のパートになってございます。
2:04:03	ここの向上というところがですね、方施設は型式すいません形状がバラバラになって申し訳ないんですけども厨房ページのところですね、型式えと今回適用する場合のタケダ and ヨシダにプロファイルですけども、このペースでやったことも一緒に外 β使えますよねっていうところが
2:04:21	前提としてありますので、そのような 15 ページにですね、記載をさせていただいたということになってございます。以上です。
2:04:29	地域の課題です。やはりですね、今まさに図を見ながら、
2:04:35	具体的な説明といいますかこういう形で同等と考えますと考えられますというような説明があってもわかりましたのですね
2:04:46	もう少しやはり丁寧な形でですね、当図等多様だとかですね、そういったものも含めて説明部長のてっ適正化とほぼしてもらいたいと思いますがよろしいでしょうか。
2:05:01	そうしましたら、ご指摘いただきました通りですね文章中にですね後も 2 本ずつですねきちんとですね、ひもづけされてなくてですね、ちょっと資料になってございますので、そのひもづけてですね資料がですねわかりましたのではですねちょっとこちらの方で検討して、
2:05:20	適切に資料に反映したいと考えてございます。以上です。
2:05:23	規制庁ハバサキです。
2:05:25	お願いします。私どもが最後なんですけれども、この資料も 25 ページ。
2:05:31	例えば冷却塔ファンの評価結果という所系でこの記載だけの話なんですけども。
2:05:39	例えば評価部位の⑩とか⑬というのがあるんですが、
2:05:44	これっていうのは 19 ページで言うと、⑨とか⑪に対応するというふうに考えていいんですよ。
2:06:02	うんで示してございます。結構お願いした通りでございます。以上です。
2:06:06	ちょっと細かな話ですけど、そういったところもですね、ちゃんと整合するような形で、当資料のほうをしっかりと作ってもらいたいという、ちなみにその上の表の
2:06:19	軸受⑥っていうのはこれ⑤の話ですか。
2:06:25	これ 23 ページの⑤の話かなと思ったんですけど。

2:06:32	日本原燃の示してございます。ご指摘いただきましてですね、地域向けにつきましてはですね、⑤番が正しいと記載となりますので、そこですね修正をさせていただきます。以上です。
2:06:48	規制庁浜田です。記載だけで言えばそうなんですけども、こういったところですね、やっぱり事実した記載のほうにしてくださいということで、
2:07:00	私のほうからは以上になります。
2:07:05	規制庁側から事実確認あればお願いします。
2:07:17	はい。
2:07:20	はい。よろしければ、それでは時連 14 もですねコメントの確認と、そういったの修正のスケジュール等の説明をお願いします。
2:07:34	はい。
2:07:34	さっき小峰さんがですね、全体に対する修正といたしまして、プロパー今このタカハシ改め新た見たこと及び別紙で展開してるっていうところなんですけども、全体の補足説明資料という考え方イベントであれば、
2:07:51	イトウだけ機能維持での確認済み加速度との比較をやる設備がこれなんだっていうところと、そこを超えてきたときに今回のような協力関係あるものと、あとは本当のある
2:08:04	しかもやったものっていうところの大きく三つに分かれてくると思いますので、それらの全体の考え方と対象設備というところの関係がわかるようにしまして、このコサクっていうところは修正したいと考えてございます。詳細の中身につきましては、
2:08:20	ちょっと詳細は多分方ですと詳細につきましては続けて評価を行いかねブルームだろう。別に書き下しですね、これが非常にわかりにくい。
2:08:35	そこは一致させるように整備を行っていく。
2:08:41	疾病するところです。例えばその区画言えば、それをやはり最終という準備、その辺をbarですね、パンチ部分長フジノたところの位置付けが全部バラバラだったりしますんで、そこは一致させる方向で直すと。
2:08:59	いう修正を加えます。
2:09:02	上部すべてこちらの修正。
2:09:06	以上です。
2:09:12	層面等について過不足等はないでしょうか。よろしいですか。
2:09:20	はい、それでは修正のスケジュールの説明を願います。
2:09:24	介護N値するか修正の市況いる多数はこちらの資料も先ほどの資料と同じ 24 日提出、計画しております。
2:09:36	はい、わかりました。

2:09:48	本日のヒアリングなんですけども 18 が切っているので、
2:09:54	あと何かコメントだけに伝えておくような資料とかがあれば、
2:10:05	はい、何年サガワです。三つ残った資料としまして、ちょっとポイントだけ記載させてもらってヒアリングの理解は来週以降に最制定させていただいていうところになりますのでポイントだけ補足させてください。
2:10:19	特にいただくっていうか大きく変えたと思うんですね、オガセの資料につきましては個別にこういうところが足りないということが起こってもどう指摘をいただきましたので、最後のまとめ表で今後説明していくような代表機器とかっていうところを中心にすべて直しましたとの兼務の方については直下の影響。
2:10:37	すべて収束してからこの範囲だろうというところで聞いてますというところで期限も修正だけです。連系考えてましては、私は構成自体を見直しましたように見直したかといいますと後ろになったように、本当の耐震計算書で示すものを補足説明資料で示すものっていう一覧表が例えば
2:10:55	18 ページ以降につけさせていただいております、この中で説明していきます予測していきますよとかということを書かせていただいております。これについてはまずは提供しきい値だけお話ししたんですけど、例えばFMとか配管とかについてもすべてこの白紙にお話ししたっていうところで、
2:11:14	大きく変えたところのこの資料になってございまして、中でもこの整理につきましても、大きく変えました。この表を作ったことによりまして、見込みっていうところで日程からやる考え方っていうところに書きまして、参考の中でその分類結果を特に説明していくんだって有効性で今大きく見直したっていう
2:11:34	未経過の資料の修正内容となつてございましてというところでは、はい。さらに耐震対 3 社でコンターを
2:11:45	補足説明資料なんですけども、これもコメントを反映して我々の認識で関与してますっていうところを出してはいるんですけどもちょっと第三者たい観点から見たときに、我々の考え方がかなりわかりづらくなると特にという看護師の中でですね。
2:12:03	で考えてございましてので、ここについては、本当の改めて修正したものをお出したいなということで、本日お伝えしたかったというところでは、私のところにつきましてほんと全体としまして、カミデさんから指摘ありました全体像が見えるようになっていうところなのでまで日光で全体に共通する項目を
2:12:23	入ってあげまして、層厚の中で個別の 2 と 3 社で共通となる部分に滞留とか、こういうことを感じますよっていうような構成で修正したというところでは、ただで分散っていうのところで構成自体かならないんですけどですし、ちょっと

2:12:41	なかったってところなのでそこは修正さらにさせていただきますというところ で、以上です。
2:12:48	はい。規制庁側から今日を伝えておくべきコメントがあればお願いします。
2:12:56	規制庁感じですコメント等ではないんですか、確認で
2:13:03	計算書だところ、
2:13:05	海進期電柱 9 ですかね。
2:13:10	別紙を直すってような話だったと思うんです。それは来週までに
2:13:17	出てきて、それでヒアリングをするってということですか。
2:13:24	申しわけございません。別紙のほうについては、
2:13:29	4 目
2:13:32	文章の書き方というところがありましたんじゃない文書が取りまとめ外周
2:13:36	ヒアリングできるように、
2:13:38	うん。
2:13:39	調整してもらおう。
2:13:41	そして、
2:13:43	もしさせていただきたいと思ってます当室としましては、
2:13:48	もちろん、
2:13:50	対象からはB。
2:13:53	それで、ちょっとそのさせていただきます。
2:14:03	うん。
2:14:08	うん。
2:14:09	報告につきまして、
2:14:12	資料の提出が
2:14:14	8 月。
2:14:15	今週提出して天体ほど仕事箇所等々ありますようにサガワです。
2:14:24	播州織体系を我々の疑問があるんであれば、今日明日には出します。以上で す。
2:14:34	はい、規制庁紙すごくありました
2:14:37	あまり急ぐというか、そういう資料でもないと思ったので、綺麗になった段階で はいけば、
2:14:43	よりよいと思いますのでその辺は、
2:14:47	この調整して下さった方だと思って、耐震建物 01、Cなんですけど起電のや はり絵ばっかりが続いて建物オーバー一向に出てこなくてですね、確認は進 めなきゃいけないんじゃないかなと思いつつ、

2:15:07	こちらから出荷する必要もないんですが、いずれにしてもスケジュール表を2 です、
2:15:14	この日に出しますと、いうスケジュールか。
2:15:19	出されているにもかかわらず、結局は建物は入っていないんだという形になる って、その建物は率で都築電気って印は起電だけですよというように、わかる ようにスケジュール表で話してください。以上です。
2:15:36	タカハシツガネさんはですね、まず一つ目の指摘というところで、播州足すん であれば来週者に皆さんやらせていただくのであれば明日っていう言い方をし たんですけども、この資料の本当の重要度っていうところの資料といったコメント いただきましたので、まず来所者がやるのであれば下出します。
2:15:56	それではにつきましても一緒に延ばすのであれば、来週の火曜日9ことで見 直しますっていうのがまず1点だけのところにつきましてはご指摘中身だと考 えてございます。
2:16:07	そこについては延ばし延ばしになって次回理事会という言い方をしましたの で、そこについてはこのスケジュール表上で、この共通の資料っていうところが 新しい建物の01というところになってございますので、そこをわかるようにした いということで考えているということで、修正いたします。
2:16:24	以上です。
2:16:32	はい。ほかよろしければ、
2:16:37	すいません日本電産ありですか、最後の補足というところで参集n個緑化等 にいかにか本当ヒアリングやらせていただきました会社基本方針別紙率という ところになっております。これも矢野さんとかタケダさんがお伝えしたんですけ れども、
2:16:55	別紙の4の
2:17:01	何か。
2:17:02	別紙の4の紙の3分の1やもん。
2:17:06	3-6inいろんな11、4-12。
2:17:11	というところで今ちょっと資料高目にするものとしませうけども、これについては 本日お出しするっていうところで、耐震のほうから、その事務局言われましたと タナカの4-1とかんと置いていろいろな修正にちょっと時間要するっていう話 をしたものもですね。
2:17:29	についてはスケジュール上を明後日提出するっていうことで今計画しておりま すというところになっておりますので、そこはちょっと事務局から補足お願いし ます峠のビジネスためにはですね、私たち事務局のメキのために別紙2の シリーズ集まってきているんですがちょっと

2:17:48	若干件数の資料コーナーストーン時間余裕してまして、本日提出されることと18時過ぎてしまうので厳しいと出した中ですね結集できるようにちょっと準備させていただきたいなというふうに考えております。
2:18:02	申し訳ありませんセンターと一緒に置換もう少し掴まヒアリング、或いは機関がそれぞれ資料に対して説明読み込む時間というのは少ないからでしまっている状況で、ヒアリング設定させて審議させてもらってますし、あわせて
2:18:20	明日の所属させていただきますけれども、申し訳ありません。
2:18:25	規制庁モリノです。あれですね。
2:18:29	本日提出予定だった。ええと地盤の0.0シリーズ一方それと別紙関係の4-1から4名徐々に半径なってるところの1-1以外の関係なんてところ以外っていうのは出した朝市で提出されて、
2:18:48	それで、4の1個と、それと4-7は変わらず、そうずっと木曜日ということでそれは間違いないんですけどね。
2:18:57	頼むビジネス界などに地中白抜きますけども、放水路ベンチャーです、4-1と4-7だけではなくて、コメント反映する必要があるということで送らせてくださいって切る明文したのが、その他のその他として、いわゆる毎バッチの9門の中です。
2:19:19	4番、はい。はい。10日提出ということで今対応してございます。
2:19:27	遊佐。
2:19:30	それから、
2:19:33	これがおっしゃっています。
2:19:35	ユニチカ、
2:19:38	12か。
2:19:41	うん。
2:19:48	はい、わかりました。
2:19:50	とりあえずその状況を反映して差し替えとスケジュールが明日提出されるというところなんです。
2:19:58	はい、その辺をちゃんと反映していただいて、また来週の支援を求めています。
2:20:08	競技力じゃないですか。申し訳ありませんよろしくお願いします。
2:20:12	それでは他になければ、ヒアリングを終わりたいと思いますがいかがでしょうか。
2:20:21	よろしいですか。
2:20:22	原燃側からもよろしいですか。

2:20:25	はい。また純水大丈夫です。はい、件数では本日のヒアリングを終了したいと思います。お疲れ様でした。
2:20:34	どうもありがとうございました。ありがとうございました。